

# What's New !

2026年3月25日

フィールドワークの様子⑤

2025年度フィールドワークの様子を更新しました

[フィールドワークのページ](#)

2026年3月22日

令和7年度学位記・終了証書授与式

3月18日（水）に、令和7年度学位記・修了証書授与式（卒業式）が執り行われました。本学では、卒業式の前に、神宮外宮に参拝（一般参拝）し、次に内宮で御垣内参拝（ご正殿を囲む板垣より内側に入ってご正殿の目の前・神様により近い場所での参拝）をおこないます。その後、大学に戻り卒業式、学科ごとに分かれて学位記や教員免許状などを受け取ったら、最後に、構内至るところで学友や指導教員と4年間の頑張りを労ったり、思い出話にふけったり、写真撮影をしたり…。修士課程を修了した2名の学生さん、教育学部を卒業した208名の学生さん、修了・卒業、おめでとう！



[次のページにつづく](#)





**2026年3月18日**

### 卒業記念ミュージカルが上演されました

令和8年3月7日(土)・8日(日)に、教育学部卒業記念ミュージカル「アリスとことばのまほう」が皇學館大学記念講堂で上演され、盛況のうちに終了しました。

卒業記念ミュージカルは、約40年にわたり続く教育学部の伝統行事です。コロナ禍による中断を経て昨年度に復活し、今年度も引き続き、学生主体の舞台づくりが展開されました。

作品は、4年生を中心とした教育学部の有志学生が約1年をかけて準備したもので、キャストのみならず、脚本の作成、大道具・小道具・衣装の制作、演出や音響・照明などの舞台運営、さらには当日の受付や駐車場整理に至るまで、幅広い役割を学生スタッフが担いました。また、公演は生演奏による伴奏で行われ、舞台に一体感をもたしていました。

当日は地域の多くの子もたちが来場し、会場は終始にぎわいを見せていました。のべ約800人の方々に来場いただきました。

今年度の公演は、「言葉の使い方の大切さ」をテーマとした内容で、言葉が人に与える影響や思いやりの重要性について描きました。劇中では、小さな子どもたちも楽しめるように、客席を巻き込む参加型の演出も取り入れられていました。主人公を応援する子どもたちの元気な声が客席から上がるなど、舞台と観客が一体となる様子が見られ、活気ある公演となりました。

「子どもが好きということが伝わる素敵なミュージカルでした」「手作り感や仲の良さが伝わり、充実した学生生活を過ごされている学生さんたちの姿が輝いていました」「歌、演技、衣装、道具すべてのクオリティが高く感動した」「言葉の大切さを子どもたちに分かりやすくミュージカルという形で伝えてくれ、親として嬉しかった」「このミュージカルをしている学生さんたちが先生になってくれるのなら未来も明るいと思わせてくれた」との感想をいただきました。

次のページにつづく



次のページに続く

2026年3月17日

地域の高校生と共に汗を流す ー令和7年度春季三重県高等学校体育連盟  
剣道専門部剣道教室で指導ー

皆さん、こんにちは。保健体育コースの加藤純一です。今回は、私が講師として参加した「三重県高等学校体育連盟剣道専門部 剣道教室」の様子をご紹介します。

大学の教員は講義だけでなく、このように地域の部活動やスポーツの現場に赴き、直接指導を行うことも大切にしています。

1. 三重県内の9校から100名を超える剣士が集結

2026年3月15日、三重県立津西高等学校を会場に、いなべ総合、伊賀白鷗、津西、白子、四日市、高田、伊勢、海星、津田学園の計9校から、101名の高校生が集まりました。

午前・午後合わせて4時間の講習では、剣道の土台となる「基本の動き」（ボール打ち、すり足・踏み込み足での面打ち等）を丁寧に行いました。最後は、引率の先生方15名が元立）となり、高校生たちが次々と掛かっていく熱気あふれる指導稽古で締めくくりました。

2. 剣道の奥深さを伝える「質問コーナー」と「二刀」の紹介

技術の指導はもちろんですが、「剣道の楽しさや幅広さを知ってほしい」という思いから、次のような取り組みも行いました。

・剣道の相談コーナー：「試合で緊張しないためには？」「足の痛みへの対処法は？」といった、高校生ならではの切実な質問にアドバイスを送りました。

・「二刀」のレクチャー：剣道には、両手に太刀（長い竹刀）と小太刀（短い竹刀）を持つ「二刀」というスタイルがあります。ほとんどの高校生が初めて見るものでしたが、非常に高い関心を持ってくれました。講習会終了後に10名程が集まったので、実際に太刀と小太刀手にしての操作方法をレクチャーしました。

3. 「礼儀」と「質の高さ」に触れて

今回参加した高校生は、挨拶や礼儀が非常にしっかりとしており、また、真摯に講習会に参加し、一所懸命に取り組んでいました。三重県の高校剣道の質の高さを改めて実感した次第です。これは、日頃から熱心に指導されている先生方の努力の賜物と思います。

改めて、今回のこのような場を設けてくださった、専門部委員長の尾上誠一郎先生（皇學館高校）や山下隆史先生（津西高校）には心から感謝いたします。



次のページに続く

2026年3月10日

【教育学会講演会】古事記と宇宙～時空を越えた知的冒険～

5月23日（土）に、教育学会講演会が開催されます。

教育学部に数理コースの完成を記念した講演会です。一般の方の聴講も可能です。是非、ご参加ください。

数学・理科の先生を目指すあなたに まだ見ぬ世界を探求するあなたに

皇學館大学教育学部・皇學館大学教育学会 講演会

# 古事記と宇宙

～時空を越えた知的冒険～



柴田一成

記念講演：京都大学名誉教授 柴田一成  
DVD「古事記と宇宙」より、宇宙の映像の解説を中心に

パネル討論「予測困難な社会を生きる学びの本質」  
登壇者 京都大学名誉教授 柴田一成  
皇學館大学特命教授 大野昭文  
コーディネーター 皇學館大学特命教授 村瀬雅俊  
皇學館大学准教授 澤 友美

大野昭文

村瀬雅俊

澤 友美

日時 令和8年5月23日（土）13：30～16：00  
場所 皇學館大学 621教室 入場無料  
対象 高校生・保護者、高等学校教員、皇學館大学生、中学生、教育関係者、一般市民  
主催 皇學館大学教育学部 皇學館大学教育学会  
後援 三重県教育委員会（申請中） 伊勢市教育委員会（申請中）

2026年3月10日

フィールドワークの様子④

2025年度フィールドワークの様子を更新しました

[フィールドワークのページ](#)。

2026年3月9日

3月7日・8日に上演される卒業記念ミュージカルを中日新聞と毎日新聞で紹介していただきました

（お詫び）ホームページ管理者が出張で不在だったため、ミュージカルが終了してからの更新となりました。

卒業記念ミュージカルを、新聞で紹介していただきました。

学生生活の集大成にしよう約1年間かけて取り組んできた舞台の練習が大詰めを迎えています。

中日新聞 は [こちら](#)

毎日新聞 は [こちら](#)

場所：皇學館大学記念講堂

日時：3月7日（土）・3月8日（日）

開場：13:30 / 開演：14:00

予約不要、入場無料、どなたでも大歓迎です！

ご家族・ご友人お誘いあわせの上、学生たちの集大成をぜひご覧ください。

2026年3月4日

**【つばさ】2025年度フォローアップ研修会を実施**

2025年12月4日（木）、2026年1月15日（木）、2月19日（木）の全3回にわたり、教員採用試験対策講座「つばさ」フォローアップ研修会「学級づくりめっちゃ遊べばなんとかなる！ー」を実施しました。講師に子どもの遊び場芦田塾代表の芦田健太氏をお迎えし、「直ぐに遊べて、何度でも子どもが挑戦できる」活動として“3億円じゃんけん”や、体育館では順位をつけないリレーなどを体験しました。勝敗だけにとらわれない遊びを通して、子ども同士の関係づくりや安心感の醸成につながることを実感。子どもたちが楽しく体を動かすことが、学級の雰囲気をも明るくし、学びの土台を築くことを学ぶ貴重な機会となりました。



2026年3月3日

**フィールドワークの様子③**

2025年度フィールドワークの様子を更新しました

[フィールドワークのページ](#)

次のページに続く

2026年3月3日

### 卒業記念ミュージカルを伊勢新聞で紹介いただきました

3月7日・8日に上演される卒業記念ミュージカルを、伊勢新聞で紹介いただきました。現在、学生は「子どもたちはもちろん、大人にも楽しんでほしい」と、本番に向けて練習を重ねています。

場所：皇學館大学記念講堂

日時：3月7日(土)・3月8日(日)

開場：13:30 / 開演：14:00

予約不要、入場無料、どなたでも大歓迎です！

ご家族・ご友人お誘いあわせの上、学生たちの集大成をぜひご覧ください。

伊勢新聞の記事は [こちら](#)



2026年3月2日

### 学生の活動が中日新聞で紹介されました

教育学部の学生の活動を、2月17日の中日新聞に取り上げていただきました。

3名の学生が、不登校の子どもらの学習支援と居場所づくりの場である「こじか教室」を松阪市で運営しています。

中日新聞の掲載ページは [こちら](#)

2026年3月2日

### フィールドワークの様子②

2025年度フィールドワークの様子を更新しました

[フィールドワークのページ](#)

2026年2月28日

### 梅の花が満開です

今年も校内の梅の花がきれいに咲いています。春ももうすぐです。



2026年2月28日

### フィールドワークの様子①

2025 年度フィールドワークの様子を更新しました

[フィールドワークのページ](#)

2026 年 2 月 22 日

ミュージカル俳優王子菜摘子先生によるワークショップ：教育学会 サック  
ス奏者 YURINA 先生によるワークショップ：音楽教育研究部会

2026 年 2 月 5 日に、ミュージカル俳優の王子菜摘子先生を招いて、卒業記念ミュージカルのキャストやスタッフを中心に指導していただきました。丸一日かけて一つずつシーンを見ていただき、演技、歌唱、ダンス、演出についてアドバイスをいただきました。

様々な班の協力で成り立っているミュージカルですが、まだ班同士の連携がうまくいっていなかったところを、王子先生に大切なポイントを整理していただくことで一気に完成に近づきました。それぞれのキャラクターの魅力を引き出すポイントも教えていただき、今年も楽しいミュージカルになりそうな見通しが見えてきました。

また、同日には、サクソ奏者の YURINA 先生にも、ミュージカルの音楽班の指導をしていただきました。

卒業記念ミュージカルの本番は、2026 年 3 月 7 日（土）・8 日（日）です。多くの方々に喜んでいただけるよう、引き続きがんばります。



[次のページに続く](#)



次のページに続く

2026年2月22日

令和7年度卒業論文口頭試問を実施しました

2月12日（木）、13日（金）の両日、令和7年度卒業論文口頭試問を実施しました。4年間の学修の集大成として、それぞれにテーマを設定したうえで、データを収集・分析し、卒業論文としてまとめたものをプレゼンテーションしました。緊張の面持ちで臨む者もいれば、主査・副査からの厳しい質問に堂々とした振る舞いで回答する者もいて、実に有意義な行事となりました。



次のページに続く

2026年2月12日

## 伊勢市のウォーキング大会で学生が講師役を務めました

2月11日（水・祝）に、伊勢市健康課主催の、「ヘルスアドバイザーと健康課の共同企画 健康の日における啓発事業 ウォーキング大会」が開催され、本学健康科学研究室の3年生が、参加した住民（成人）に対し、身体活動・運動やウォーキングが健康に及ぼす効果やウォーキングをする際の注意事項について30分間の講話を、親と一緒に連れられてきた子ども（小学生以下）には、大人が講話を聴いている間、スポーツに関するクイズ大会を催し、楽しい時間を提供しました。その後は、天候が良ければみんなで大仏山公園でウォーキングをする予定でしたが、あいにくの天候のため、体育館内でウォーキングを兼ねた運動を1時間おこないました。

参加してくれた市民の皆様には、学生の拙いお話を聞かせることになりましたが、学生にとっては良い経験・勉強になりました。参加していただいた市民の皆様、温かい目でお話を聞き、学生教育にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



2026年2月11日

## 卒業論文構想発表会を開催しました！！

2月9日（月）、3年生が卒業論文の構想を発表しました。3年生はこの日のために、卒業論文で取り組むテーマを設定し、研究の目的や方法、章節構成を練ってきました。構想発表会で受けた指定討論教員からのアドバイスをふまえながら、今から1年間をかけて卒業論文に取り組みます。



次のページに続く

2026年2月5日

## 「出張びよびよJin いつきのみやこども園齋宮ベビールームを開催！」

本学が地域子育て支援の一環として取り組んでいる「びよびよ」。今回は、キャンパスを飛び出した「出張びよびよ」として、明和町の「いつきのみやこども園齋宮ベビールーム」を訪問しました。当日は教育学科の学生15名が参加し、10組の未就園児の皆さんと交流を深めました。

折しも開催日は節分の日！学生たちが準備を重ねてきたダンスやゲーム、読み聞かせが始まると、子どもたちは興味津々な様子で、会場は笑顔と活気でいっぱいになりました。

保育の現場を肌で感じるこの活動は、将来の教育者を目指す学生にとって、何物にも代えがたい貴重な学びの機会となっています。温かく迎え入れてくださった齋宮ベビールームのスタッフの皆様、そして参加者の皆様、本当にありがとうございました。



次のページに続く

2026年2月5日

歌手・俳優の中右貴久氏を招いた演劇ワークショップ

1月23日に、俳優、歌手、ダンサーとして活躍している中右貴久氏を招いて演劇の指導をしていただきました。3月7日・8日に本番を控えた卒業記念ミュージカルのキャストを中心に、8人の学生が集まりました。

劇中の場面のいくつかを見ていただきながら、実際の演技や歌唱に対して一人一人にアドバイスをいただきました。また、体調管理のことなど、舞台に立つための心構えについてもお話いただきました。これからどのように練習を進めていけば良いのかについての質問にも丁寧に答えていただき、参加者それぞれが課題を見つけることができました。



2026年2月5日

日本生物教育学会 第110回全国大会

2026年1月10日・11日に大阪府の大阪教育大学で日本生物教育学会第110回全国大会が行われ、本学学部生、本学卒業生、教員が研究成果を発表しました。教育学部の学部生は中松豊教授、澤友美准教授と共にヒトと昆虫の循環器系の共通性・多様性の理解を促すための、昆虫を用いた背脈管の拍動の観察実験教材を紹介しました。また、本学卒業生で大学助教の奥村雄暉氏、同卒業生の中学校理科教諭の二宮功至氏、澤准教授は口頭発表を行いました。

本学と連携授業を実施している鳥羽東中学校教諭の橋爪勇樹氏は「中学校・大学連携における生き物教材の開発と授業実践」と題して、中学校1～3年生に対する理科の授業実践成果を発表しました。いずれも大変好評で全国の高校生、高等学校の先生方や大学生、大学教員に向けて情報を発信することができ、学生にとって貴重な経験となりました。今後も研究活動に邁進してほしいと思います。



次のページに続く

2026年1月2日

渡邊賢二先生、渡邊毅先生 ご退任記念講義

日時：2026年2月14日（土） 13:30～16:00

会場：621教室

渡邊賢二先生

演題：これまでの研究と今後に向けて－親子関係と心理教育－

渡邊毅先生

演題：偉人伝と私－人物伝教材には力がある－

皇學館大学教育学部・教育学会共催

# 渡邊賢二教授・渡邊毅教授 退任記念講義

2/14(土)

13:30-16:00  
(予定)

621教室

本学教育学部教育学科教授の渡邊賢二先生・渡邊毅先生が今年度末をもちまして退任されることになりました。ご退任にあたり記念講義を行います。ぜひご聴講くださいますようご案内いたします。

※聴講無料・申込不要

皇學館大学教育学部教育学科教授  
教育学部長

渡邊 賢二 先生

「これまでの研究と今後に向けて  
－親子関係と心理教育－」



皇學館大学教育学部教育学科教授

渡邊 毅 先生

「偉人伝と私  
－人物伝教材には力がある－」



駐車場には限りがあります  
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

《問い合わせ先》  
皇學館大学教育学部研究室  
TEL:0596-22-6458

次のページに続く

2025年12月2日

ミュージカル観劇 劇団四季『マンマ・ミーア！』

令和7年11月5日にミュージカル観劇会を開催し、15名の学生が名古屋四季劇場にて『マンマ・ミーア！』を鑑賞しました。世界的ポップグループ〈ABBA（アバ）〉のヒットナンバーで構成されたこの作品は、舞台全体がエネルギーと楽しさに満ちており、客席と一体になって楽しめる作品でした。「ABBA」の曲にはあまり馴染みがないという学生もいましたが、聞いてみるとどこかで耳にしたことのある名曲ばかりで、自然と笑顔が広がっていました。

観劇を通して、歌・ダンス・演技・舞台美術などが一体となって生み出される〈総合芸術〉の魅力を体感的に学ぶことができました。また、学校や保育の現場での特別活動を企画・運営するうえでのヒントも数多く得られたようです。さらに、3月7日（金）・8日（土）に上演予定の卒業記念ミュージカルにキャストやスタッフとして関わる学生も多く、プロの舞台から大きな刺激とアイデアを得て、制作への意欲をいっそう高めていました。



次のページに続く

2025年10月31日

学生によるミュージカル『アリスとことばのまほう』 上演のお知らせ

今年度も、令和8年3月7日（金）・8日（土）の2日間にわたり、「皇學館大学教育学部卒業記念ミュージカル」を上演いたします。このミュージカルは、教育学部4年生が中心となり、脚本・舞台セット・衣裳・音楽・照明・広報・当日運営に至るまで、すべてを学生自身の手で創り上げる伝統の舞台です。地域の子どもたちや保護者の皆さまへ、4年間の学びの成果をお届けします。

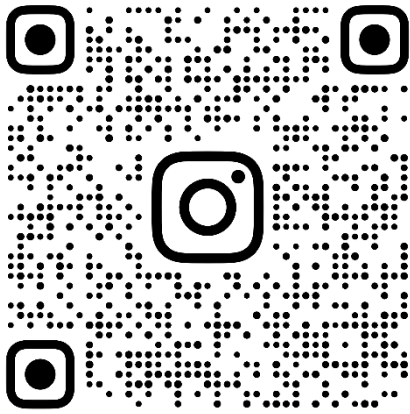
コロナ禍で一時は上演が叶いませんでしたが、昨年度は約700名ものお客様にご来場いただき、無事に復活を遂げました。今年もさらにパワーアップした舞台をお届けします。

本年度の作品名は、『アリスとことばのまほう』に決定しました。現代社会で問題となっているSNSによる誹謗中傷や人間関係のもつれに目を向け、「不思議の国のアリス」をモチーフに、「ふわふわことば」「ちくちくことば」といった幼い子どもたちにも親しみやすい言葉を通して、“言葉の持つ力”と“思いやりの心”について考える物語です。SNSや人との関わり方が問われる今だからこそ、未来の教育者をめざす学生たちが、このテーマに真剣に向き合っていきます。

子どもから大人まで楽しみながら学べる作品となっております。ぜひご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、会場へお越しください。教育学部の学生一同、心よりお待ちしております。

- Instagramのフォローもお待ちしております。

活動の様子や公演の詳細を随時Instagramに掲載して行く予定でございます。フォローよろしくお願いいたします。



4KYOU\_MUSICAL2025



次のページに続く



次のページに続く

2025年10月23日

## 皇學館 DAY2025 で数理教育コースの理科教員免許状取得を目指す学生が活躍

9月15日（月・祝）、三重県総合博物館 MieMu にて開催された「皇學館 DAY2025」において、教育学部の学生が学び体験プログラム「昆虫の中にいるハチって知ってる？」を実施しました。

このプログラムでは、昆虫の体内で生活する「寄生蜂」の不思議な生態を紹介し、顕微鏡観察やクイズを通して、子どもたちが寄生蜂について楽しく学べる内容を展開しました。会場は定員を超える参加者で賑わい、親子で生き物の世界に触れる姿が多く見られました。

当日は、生物学研究室および理科教育学研究室の学生を中心に1年生から4年生と卒業生が協力し、来場者の案内や講座の進行、観察補助を担当しました。特に、今年度新設された数理教育コース（理科教員免許状取得課程）の1年生も初めての実践的な理科教育活動に参加し、地域の子どもたちに科学の魅力を伝える貴重な経験となりました。



2025年10月23日

## 卒業生の中学理科教員と連携授業を実施

10月16日に尾鷲市立尾鷲中学校に勤務する、本学卒業生の二宮功至教諭の本学の生物学研究室・理科教育学研究室の学生が連携して、中学2年生理科の授業を実施しました。

二宮教諭は本学の理科教員養成課程新設（令和7年度入学生対象）に先駆けて「高等教育コンソーシアムみえ」の単位互換制度を通じて中学校理科免許状を取得。4月から理科教諭として尾鷲中学校で指導にあっています。

今回の授業では、生徒が生きた昆虫の解剖や観察を通して体のつくりや働きを理解する内容が展開されました。本学の学生も教材準備や実験補助を担当し、卒業生と在学生在が協働することで、理科教育の実践力を高めるとともに、地域の学校現場との連携を一層深める貴重な機会となりました。



2025年10月22日

【学生の活躍】陸上競技部・中川陽司さんが西日本インカレ・十種競技 1位獲得

教育学部 3年生で陸上競技部の中川陽司さんが、秩父宮賜杯第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会（西日本インカレ）の男子・十種競技で1位になりました。今後は、さらに上位カテゴリーの大会での活躍が期待されます。

中川さんからのコメント

大学1年生の時、U20日本選手権で3位になってから良い記録が出せず苦勞した2年だった。ようやく、やってきたことが報われてよかった。来年は全日本インカレ、日本選手権にも出場する予定なのでしっかり記録を残していきたい。



2025年10月22日

【学生の活躍】文武両道 教育学部の学生2名が「ベストナイン」に選出

本学硬式野球部に所属する教育学部4年生の松尾恵成さん、同学部3年生の赤田克海さんが、伊勢新聞社が発表する「ベストナイン」に選ばれました。「ベストナイン」は、東海地区大学野球連盟春季三重県リーグ戦で優秀な成績を収めた選手に贈られます。リーグ戦での活躍が高く評価される名誉ある賞であり、大学野球選手にとって大きな励みとなるものです。

今回選ばれた2名の学生は、日頃の練習で培った実力を存分に発揮し、チームの勝利に大きく貢献しました。教育学部で学びながら部活動にも打ち込み、文武両道を実践する姿は、後輩学生の良き手本となっています。

本学では、学業と課外活動を両立しながら挑戦を続ける学生を、これからも応援してまいります。



次のページに続く

2025年10月22日

幼児教育コース：伊勢市保育課より講師をお招きして子育て支援の学びを深めました

教職実践演習の授業では、伊勢市保育課の小西さんと渡邊さんをお招きし、子育て支援について学びました。

小西さんからは、伊勢市の子育て支援の取り組みや現状を、写真を交えて分かりやすく紹介していただきました。渡邊さんからは、保育者が行う絵本の読み聞かせや手遊び、パネルシアター、体操などを実演していただき、学生たちも笑顔で参加していました。

学生からは、「行政の支援と保育現場のつながりがよく分かった」「子どもたちと関わる中で大切にしたいことを考えるきっかけになった」といった感想が聞かれました。

行政と保育現場、両方の視点から学ぶことができ、4月から保育者として働くための知識と技術を身につける貴重な時間となりました。



2025年10月16日

## 伊勢茶のふるまい：家庭科教育ゼミ

10月12日の日曜日、家庭科教育ゼミが伊勢祭りに「伊勢茶のふるまい」ブースで出展しました。9時半にスタートすると親子連れや年配の方のグループが次々とブースを訪れ、子どもも含めて水出し伊勢茶を「おいしい」と話しながら味わってくれ、さらに学生が考えたクイズにも挑戦してくれました。「エコ習慣」としてマイボトル利用を紹介してボトルとお茶ビット（ゼミ生が作った伊勢茶オリジナルキャラクター）シール、さらに三重県農林水産部提供の伊勢茶ティーバックを配ると喜んで皆さん受け取ってくれました。昼前には用意した200本のボトルとティーバックがなくなるほど盛況でした。



2025年10月13日

びよびよ活動 秋学期も始まりました！

秋学期もびよびよ活動がはじまりました！

秋学期は主に4年生が中心となって毎週楽しい活動を企画する予定です。

第1回目は「秋のフルーツ」がテーマ。フルーツに関連した絵本、歌遊び、そしてフルーツ狩り 🍷 参加してくれた皆さんがとても楽しんでくれていました。お土産のフルーツも丁寧に製作し、カゴ風の可愛い袋に入れてますます素敵に！！皆さんに持ち帰って頂きました 😊

秋学期は12月10日まで11回行う予定です。ぜひ遊びに来てくださいね ♪



次のページに続く



2025年9月30日から、村瀬雅俊教授による物理学講義がはじまりました。本講義では、ものの考え方、自然現象の学び方、学んだことの教えあい方、それらを踏まえて討論しながら、互いの意見を発表する「双方向授業」・「グループ学習」を展開しています。

ごく普通に見られる自然現象ですが、その現象の本質を理解して他者に分かるように伝えることは簡単ではありません。物理学的探究・数学的思考・空間時間概念・教授学習方法を含めた異分野融合・領域横断的な理論と実践が求められるからです。ここに、物理学を通して自然を学びあい、教えあうという物理を含めたあらゆる教育の原点と展望があります。

何人かの学生から意見を聞いてみましょう。

1年女子

今までの物理の授業は、問題を解くという形式ばかりだったので、ひとつの問題に対して自分たちの考えをしばらくして討論しあう授業形式はすごく良くて楽しかった。… みずから学ぼうとする姿勢で過ごしていきたい(9/30)。

1年男子

最初から、探究心をかきたてられた授業でした。… みんなで考えて意見しあうのは、ちがった考え方がでてくるので楽しいです。それでも、その意見に反論してみるのも楽しい(9/30)。

1年男子

地震が起こるかもしれないという予測の根拠は、今まで気づけなかっただけで身の周りにあったことに驚きました。… 答えをただ教わることでは感じられないものがあった授業でした(10/7)。

1年男子

この時間、めっちゃ頭を使って考えました。… 問題は無限にあっても、解き方は有限であり、その有限の解き方はあらゆる問題に通じていて、そこから新しい問題も生まれてくるのだとわかった(10/7)。

新設コースの物理学講義は、今はじまったばかりです。来年、みなさんと「物理学講義」で、お会いできることを楽しみにしています！



【写真：2025年10月7日 皇學館大学8号館822教室 物理学講義】

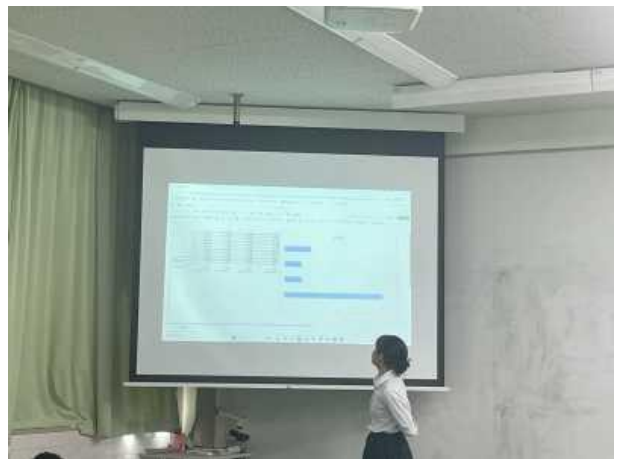
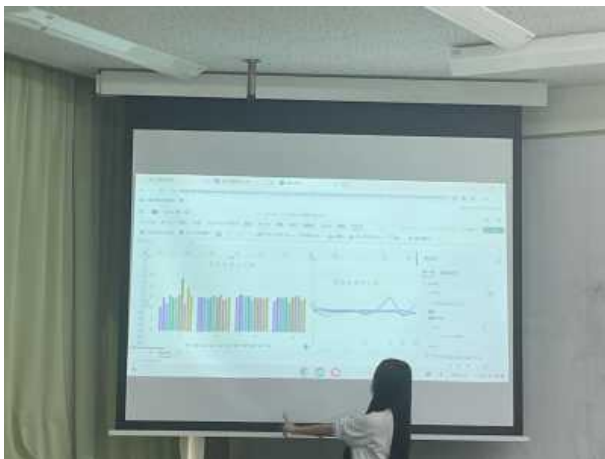
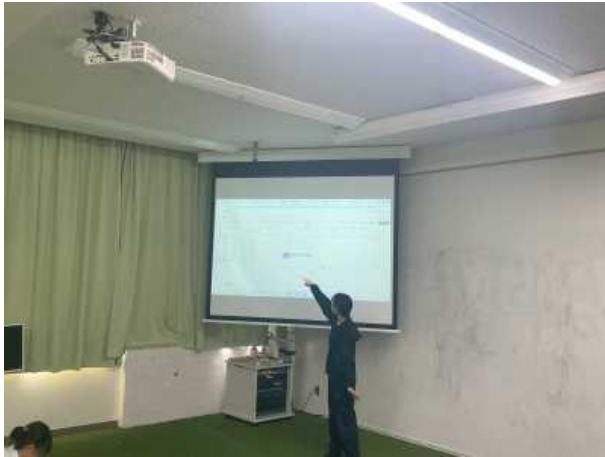
[http://uvdbwsrv.kogakkan-u.ac.jp/html/100000582\\_ja.html](http://uvdbwsrv.kogakkan-u.ac.jp/html/100000582_ja.html)

<https://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~future/murase/>

次のページに続く

9月17日（水）、三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、6月に引き続きタブレットを用いた15秒あてゲームの後、そのデータをもとに実際に分析を行いました。

4つのグループに分かれて、「どのグループが一番15秒に近いといえるか」というテーマでプレゼンを行いました。高校1年生で学習したデータの分析の内容を思い出しながら、さらにはChromebookを上手く活用し、実際表やグラフを作成して発表をしてもらいました。どうしたら自分の主張が相手に伝わるか、このプレゼン力はこれから社会に出てからも非常に重要な力となってきます。どの生徒も正解に縛られることなく、プレゼンを行うことができました。



次のページに続く

2025年9月9日

## 体育実技（野外活動）を実施しました

令和7年9月3日から5日にかけて、体育実技（野外活動）を実施しました。参加の学生40名は3日間の様々な体験活動の中で、体力や協調性を培うとともに、野外活動に関する知識や技術、活動に伴うリスクマネジメントについて学びました。

ウォークラリーでは、各班に分かれて伊勢の地に根づく歴史や文化に触れながら、外宮から内宮までの道のりをさまざまな課題をクリアしつつ歩きました。また、水辺の安全管理を学ぶ一環として訪れた一ノ瀬川では、台風通過直後の荒れた川の様子を観察することができ、自然の厳しさや危険への備えについて理解を深めました。

参加した学生からは、「仲間との協力を通じて多くの学びが得られた」「自然と触れ合う中で新しい発見があった」といった声に加え、「身近な場所でも知らないことがたくさんあり、今回を機に知ることができた。これを近い将来、指導する子どもたちに伝えていけるようになりたい」という感想が寄せられました。このように、本実習は地域や自然と深く向き合い、学生たちにとって将来への学びにつながる大変有意義な機会となりました。皇學館大学教育学部では、今後も実践的な学びを重視した教育を展開していき、学生の心身の成長を支えてまいります。

※なお、水辺の安全管理の学修において使用したライフジャケットは、バススポーツクラブ様のご厚意によりご提供いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

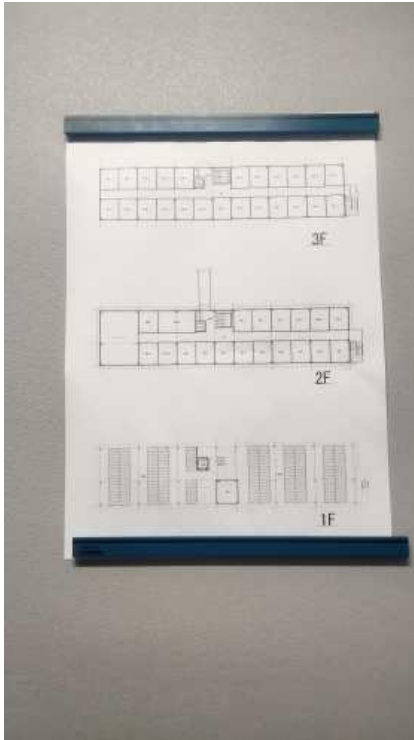


2025年9月5日

新クラブハウス 完成記念見学会

昨年末より建築工事が行われていた新しいクラブハウスが、ようやく完成しました！9月1日、2日に完成記念見学会が行われました。

41の部室と学友会室、フリースペースがあります。エレベーターやエアコンも完備しています。1階は自転車置き場です。秋学期からクラブやサークルのために活用します

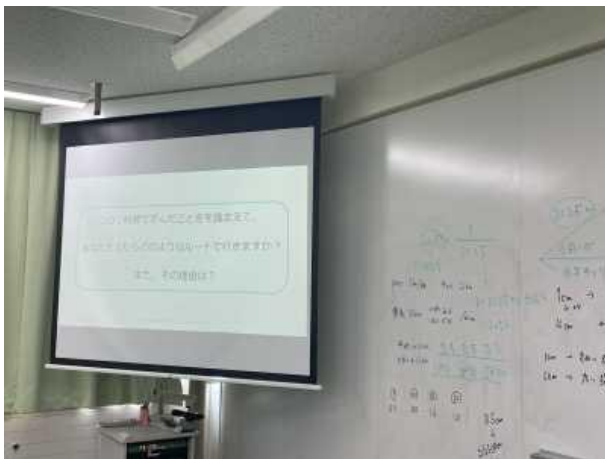


2025年9月5日

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）⑧：上野先生

9月3日（水）、三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、今回は教科を横断して大台町にある北総門山をテーマに社会の先生と分担する形で授業を行いました。まずは、社会の授業で地形図を用いて実際の登山ルート等を作成しました。その後、数学の授業では「山数（さんすう）～山を数学的に思考する～」というテーマで実施しました。古代行われていた三角測量を利用して、実際の距離を三角比を用いて計算で導出しました。また、所要時間についても一般的に言われている事実と今回のデータから算出した所要時間との比較などを行いました。

生徒たちは終始、主体的に学んでいる様子が垣間見られて非常に面白い取り組みだと思いました。



次のページに続く

2025年9月3日

「ぴよぴよ ふれあい会」秋学期も始まります！

朝夕の風が少しずつ涼しくなり、秋の気配を感じる季節になってきました。この秋も「ぴよぴよ ふれあい会」を開催します！

学生と一緒に遊んだり、おしゃべりしたりしながら、親子で楽しい時間を過ごしませんか？秋学期は、外部講師による特別な回や、みんなで楽しむクリスマス会も予定しています。

毎回10組限定での開催です。ご興味のある方はどうぞお気軽にご参加ください。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています♪

令和7年度

# ♪ぴよぴよ♪



## ふれあい会[秋学期]のご案内

猛暑続きの今年の夏、9月に入っても厳しい残暑が続いています。そんな中、日が落ちるのが少しずつ早くなるのも感じられ、お散歩や外遊びが楽しめる秋の訪れが待ち遠しいですね。

さて、令和7年度後期の「ぴよぴよ ふれあい活動」のご案内です。お友達も誘っていただき、ぜひお越しください、お待ちしております。

### 10、11、12月の予定

第11回	10月1日(水)	第17回	11月12日(水)
第12回	10月8日(水)	第18回	11月19日(水)
第13回	10月15日(水)	第19回	11月26日(水)
第14回	10月22日(水)	第20回	12月3日(水)Xmas会*
第15回	10月29日(水)	第21回	12月10日(水)Xmas会*
第16回	11月5日(水) 外部講師		

\*時間……10時から11時30分まで

\*予約……メールにてお申込み下さい。1日10組を限定としてご参加いただけます。

plyopyo@kogakkan-u.ac.jp へ開催日の3日前(月曜日)12:00までにお申込みください。

\*メール送信の際、保護者の氏名(ふりがな)、お子様の氏名(ふりがな)、生年月日をご記入下さい。

\*クリスマス会の予約については、会場にお越しただいての予約のみとさせていただきます。

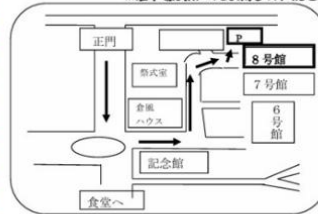
\*応募者多数の場合は、お断りさせていただきます場合もあります。

\*場所……皇學館大学8号館1階保育実習室

\*駐車場あり ○ 8号館奥の指定場所に順次車から詰めて停めてください。

○ 指定場所以外、空いても停められません。

\*駐車場は狭いのでお気をつけてください。



お問い合わせ先  
伊勢市神田久志本町 1704  
皇學館大学学生支援部  
教職支援担当 大西・瀬田  
☎:0596-22-6049  
Mail: plyopyo@kogakkan-u.ac.jp

次のページに続く

2025年9月1日

## 皇學館中学校との中大連携事業「数学研究」：上野ゼミ

今年度、初めての皇學館中学校との中大連携事業「数学研究」が8月27日、28日に実施されました。

今回はまずタブレットを用いて、目を隠して15秒ぴったりだと思つところで止める「15秒あてゲーム」を行いました。そして、そのデータを表計算ソフトであるExcelを用いて分析することを目標に、各グループに分かれ、3年生のゼミ生がそこにチューターとして入りました。1日目は、自分自身のデータや、グループの仲間のデータを入力し、表やグラフを作成することを目標にしました。

2日目は1日目に入力したデータをもとに、それぞれが「誰が一番15秒に近いといえるか」について、根拠（evidence）に基づいてプレゼンを行いました。非常に活発な議論を行うことができ、生徒にとっても、また学生にとっても有意義な時間となりました。

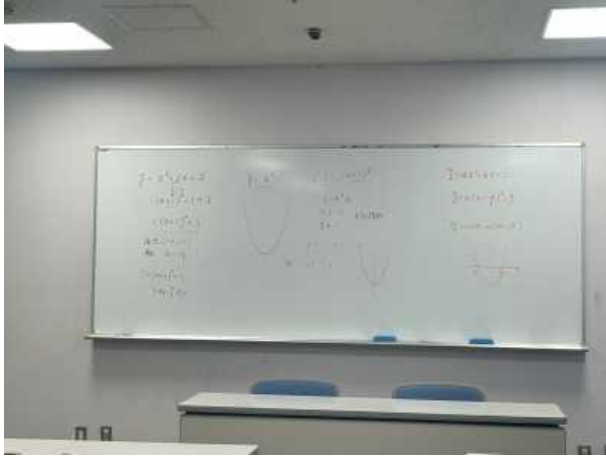


2025年8月25日

第7回 IS 数学授業研究会：上野ゼミ

8月23日（土）、津のアスト津にて第7回の IS 数学授業研究会が実施されました。この研究会は現役の高校教師が開催されている会です。特に、若手の先生方の授業での悩みや、困っていること、これから実践していきたいことなどについて共有したり、経験のある先生や教育委員会の先生が今現場で求められていること、大切にしたいことなどをざっくばらんに話したりする会です。

当日は上野ゼミの学生も参加させていただき、実際の現場の先生方の声をお聞きしながら取り組んでいました。私も、少しお時間をいただき、これからの数学教育について期待されていることなどをお話させていただきました。



2025年8月25日

学問探究セミナー「教室ファシリテーションを体験しながら考える『未来の教育』」：上野先生

8月19日（火）、三重大学教育学部にて学問探究セミナー「教室ファシリテーションを体験しながら考える『未来の教育』」というテーマで、三重大学の松岡先生、近藤先生、山川先生、横山先生と共に、将来教職を志している三重県内の高校生約 30 名 に対して、現場での経験をもとにお話をさせていただきました。

高校生からもたくさんのお意見や将来の教育に向けた前向きな提案もあり、あっという間に時間が過ぎていきました。このような活動を通じて、多くの生徒さんが教師を目指してもらえればよいなと感じました。

次のページに続く

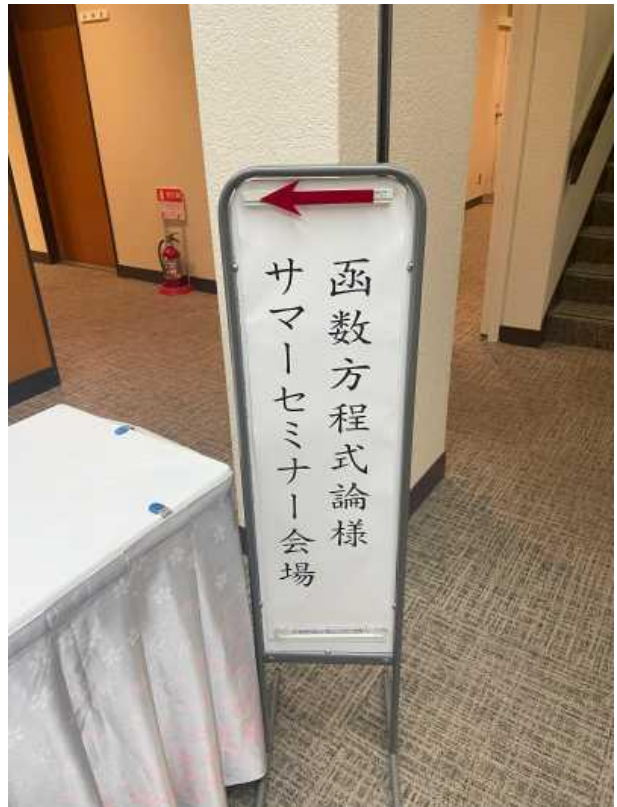
2025年8月25日

2025年度函数方程式論サマーセミナー：上野先生、信川先生

8月18日（月）～21日（木）にて兵庫県加西市「いこいの村はりま」にて行われた2025年度函数方程式論サマーセミナーに信川先生と共に参加させていただきました。

この研究会はパルヴェ方程式の先駆者である東京大学名誉教授の岡本和夫先生研究室の関係でスタートしたものです。特に大学院生や若手の研究者が積極的に発表する非常良い機会をいただいています。

信川先生は宇都宮大の安達駿弥さんとの共同研究で「多変数  $q$ -middle convolution の定式化に向けて」、上野先生は「高階パルヴェ系の量子化」について発表をさせていただきました。質疑応答も活発になされ、大変有意義な時間となりました。



次のページに続く

2025年8月9日

研究集会「可積分系の代数解析学」に参加しました：上野先生

8月8日（金）、神戸大学百年記念館六甲ホールにて開催された研究集会「可積分系の代数解析学」に参加させていただきました。これは、11月に急逝された神戸大学名誉教授の野海正俊先生を偲んで行われた研究集会です。

全国各地から野海先生と親交のある数学者が集まり、最新の話題から当時の野海先生とのエピソードなど多岐にわたる視点から可積分系に課する話題についてのご講演をお聞きました。改めて数学の素晴らしさ、数学を研究することの意義について再認識することができた一日となりました。



次のページに続く

2025年8月9日

## ビスケットカンファレンス 2025（東京女子体育大学）において学部4年生が研究発表しました

令和7年8月4日に東京女子体育大学で開催されたビスケットカンファレンス 2025 において、本学教育学科4年生の金丸桃子さん・森見柚月さん・横井由翔が研究成果の発表を行いました。

研究発表は、口頭発表「子どもの創造性を育むプログラミング教室の試み—Viscuit のセンサー機能に注目して—」藏本華さん（令和6年度卒業生）・金丸桃子さん（4年生）・大杉成喜教授の連名、ポスター発表「幼児を対象にしたプログラミング教室の実践—M-GTA を用いた「場づくり」の考察—」西川夏鈴さん（令和6年度卒業生）・森見柚月さん・横井由翔さん・大杉成喜教授の連名の2本です。いずれも参加者の現職教員の先生方やビスケットの開発者の原田博士から活発なご質問・ご意見をいただきました。

ビスケットカンファレンスはビスケットプログラミングに秀でた全国の教員が参加し、実践発表と最新の技術について議論を行います。ここで議論や最新情報をもとに研究を進めていきます。今年度は3日（日）開催のプレカンファレンスで「メガネの連結と片メガネの機能（AND 回路）」の実装が報告され、これをどう活用するかが話題となりました。次年度開催予定のビスケットカンファレンス 2026 は本学での開催を予定しており、研究の発展が期待されます。



次のページに続く

8月3日（日）に倉志会夏期特別講座が実施されました。倉志会とは中学、高等学校への教員輩出を飛躍させるため、中高教員を目指す学生をさらにサポートすることを目的として発足した会です。

午前中の全体会の後、午後は数学の分科会が実施されました。分科会の講師には津市立東橋内中学校の池上昌和先生にお越しいただき、学生たちのために現場での指導経験をもとにみっちりご指導をしていただきました。以下は参加した学生の振り返りです。

今回の全体会では、①現職の中学校の先生から「教師は人と人をつなげる・つながる人」②夢を叶えた教師による現在、③教科別の勉強会、④現場の先生との座談会（質問会）の4本立てで教師に向けた学びを得た。

①では、生徒と教師のつながりだけでなく、生徒と生徒のつながりや保護者と生徒のつながりなどといった人と人とのつながりの大切さについて学び、つながりを育むための実践について学んだ。授業実践では、国語科「空中ブランコ乗りのキキ」と総合「20年後の自分」の授業例をもとに生徒と生徒のつながりに重点を置いていた。授業実践を通して、教師と生徒以外においても、つながりを育む人物が教師であることについては、自分自身も現場に出てから目指す姿として残しておこうと思った。

②では、夢を叶えて早2年の先輩から若手目線の教育現場について教えていただいた。普段であればベテランの先生が語る場であるはずなのにというのは先輩ご本人が述べていたが、新人としての目線で、その中での苦労や楽しさなど、喜怒哀楽幅広く語っていただいた。

③の数学科では、今年度の教員採用試験の科目「多項式の計算」「三角形の合同」「データの活用」の中から、「三角形の合同」を用いた模擬授業を行っていた。担当していただいた池上先生は、授業づくりにおいて「面白い数学の授業」というテーマで、楽しい授業のための3つ条件「予想とのズレ」「教科書を見比べる」「難しい問題(ジャンプ問題)」をもとに今回の模擬授業も構成されていた。「三角形の合同」は自分自身も覚えて書けるようにするために何度も書くことで習得していたが、ただ覚えるだけでなく、演繹と帰納を相互に用いることで証明がさらに書きやすくなるのではないかと思った。

後半では、学生の一人が「一次関数のグラフ」を模擬授業で行い、先生による講評を行った。授業構成がよくできておりかなりよくできていた。授業を行った学生はかなりハイテンポで進んだと述べていた通り、授業が1時間でかなり進んだものとなっており、こちらについては今後の実践を通して検討してみたいとアドバイスをもらっていた。数学科の勉強会は終始盛り上がり、学生一同非常に濃い時間となった。



2025年8月6日

三重県立伊勢高等学校 1年生が本学にて生物実験講義を受講：中松先生・澤先生

2025年7月18日、三重県立伊勢高等学校のSSアドバンス受講する1年生が皇學館大学を訪れ、生物実験講義を受講しました。講師は本学教育学部の中松豊先生、澤友美が務めました。講義では、アワヨトウ幼虫の血球が蛍光インクを貪食する様子を顕微鏡で観察し、免疫に関する基礎的な知見を深めました。本実験には、本学教育学部の生物学ゼミおよび理科教育学ゼミの学生がアシスタントとして参加し、高校生に顕微鏡の扱い方や観察のポイントを丁寧に指導しました。大学と高校の連携による本取組は、高校生にとって科学への関心を高める貴重な体験となりました。



2025年8月6日

教員採用試験直前、「つばさ」が本番想定模擬面接を実施

7月12、13日、小学校教員を目指す学生団体「つばさ」が、教員採用試験に向けた模擬面接を行いました。教員が面接官役を務め、本番を想定した実践的な練習を実施。学生たちは緊張感の中で受け答えを磨き、教壇に立つ夢に向けて一歩ずつ前進しています。



2025年8月5日

昆虫をテーマに小学校出前授業を実施：生物学&理科教育学ゼミ

本学教育学部の生物学研究室および理科教育学研究室に所属する3・4年生が、伊勢市内の小学校で出前授業を行いました。5月から7月にかけて、厚生・早修・東大淀・豊浜東小学校を訪問し、昆虫や自然をテーマにした生活科・理科の授業を実施しました。児童は興味深く学び、授業後には心のこもったお礼の手紙も寄せられました。



2025年8月5日

津市・親子で楽しむクッキング：家庭科教育ゼミ

家庭科教育ゼミでは毎月1回、津市中央公民館で親子で楽しむクッキングを開催しています。この日は参加者からのリクエストが多かった、クッキー作りをしました。生地を簡単に作ることができ、各家庭でアレンジが多様にできる「アメリカンクッキー作り」を行いました。

学生が補助に入りながらいずれの親子も楽しそうにクッキーを作り、作ったクッキーは家庭に持ち帰りました。学生たち自身にとっても、なかなか親子の姿を見ることはない中、このような機会を経て、親子の関わりを知るよい機会となっています。



次のページに続く

2025年8月5日

食と栄養・・・クッキー作り

子どもの食と栄養では、保育士をめざす学生に乳幼児期の食は子どもたちが食に積極的になること、すなわち「食って楽しいという気持ちを育む」ことだということを伝えてきました。そして授業の中に多くの調理実践を取り入れて、学生自身に「食の楽しさ」を理解してもらえるようにしてきました。最後の調理実践では、形に学生の個性が活かせる型抜きクッキーを作りました。学生一人一人からは、笑顔があふれ、クッキーが焼ける様子をオープンの前で子どものように待つ様子もみられました。食の楽しさを伝えられる保育士になることを願っています。



次のページに続く

2025年8月4日

郷土の偉人 史跡・記念館見学会：教育学会

道徳教育ゼミの主催で、三重県内の郷土の偉人に関する史跡や記念館を巡る現地調査を実施した。訪問先は、御木本幸吉記念館（志摩市）、本居宣長記念館（松阪市）、谷川土清旧宅跡（津市）、松浦武四郎記念館・旧宅（松阪市）である。各施設では、人物の業績や時代背景に関する解説を受け、現地資料や遺品を通じて理解を深めた。学生たちは、偉人たちの志や探究心に触れ、郷土の歴史や文化に対する関心を高めることができた。今回の調査は、今後の教材開発や道徳教育への応用に向けた貴重な学びの機会となった。



次のページに続く

2025年8月1日

## 神道博物館を見学：渡邊毅ゼミ&高橋ゼミ

7月30日に、渡邊毅ゼミと高橋ゼミの一年生が神道博物館を見学しました。神道博物館は皇學館大学の学内にあり、神道や神社に関する貴重な資料を収蔵しています。

この日は脱出ゲームを用意していただき、展示品や博物館でのマナーについてゲームを通して楽しく学びました。ゲームのクリアタイムの記録を塗り替える学生も出ました！

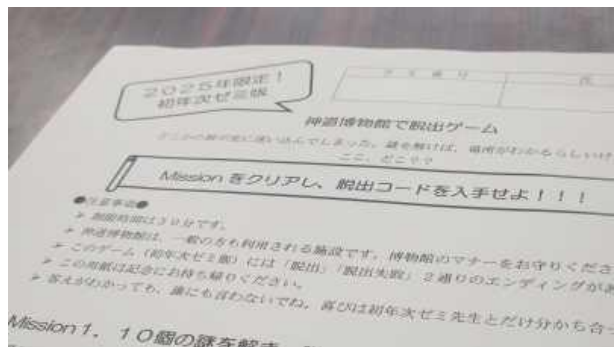
ゲームの後は、学芸員の浦野先生、小林先生に展示品の解説をしていただきました。学生は大学の講義でも神道について学んでいますが、実物を見ることで更に理解を深めることができました。

神道博物館は、一般公開しています。ぜひ足をお運びください。

皇學館大学 佐川記念神道博物館

[https://www.instagram.com/shinto\\_museum/](https://www.instagram.com/shinto_museum/)

<http://kenkyu.kogakkan-u.ac.jp/museum/>



次のページに続く

2025年7月25日

三重県私立中学校フェア・伊勢茶ブースに参加しました：家庭科教育ゼミ

7月21日海の日にメッセウイングで開催された三重県私立中学校フェアの伊勢茶のブースに、卒論で伊勢茶について研究している学生たち4名が三重県の手伝いの形で参加しました。まずは、職員から今日提供する伊勢茶のかぶせ茶と深蒸し茶についての味の違いについてミニレクチャーをうけたあと、水出し茶の提供を開始しました。

ブースを開いてすぐに高田中学校の学生さん2名が来てくれ、2種類のお茶を試飲して、味の違いの感想や自分はどちらが好みかについて話してくれました。その後も、次から次へと親子連れや中学受験を考える子どもたちが来てくれ、学生たちは自らの言葉で伊勢茶の魅力や製法の違い、味の違いについて丁寧に参加者に伝えていました。来場者の中には、「お茶の販売はないのか」と聞く方もいて、改めて緑茶のニーズの高さを体感した一日でした。



次のページに続く



次のページに続く

2025年7月25日

進路（教育分野）ガイダンス in 近大新宮高校：上野先生

7月22日（火）、講師派遣プログラムによる依頼をいただき、近畿大学附属新宮高等学校1・2・3年生教育ゼミの生徒を対象に教育についてのお話をさせていただきました。

「生徒と接する上で気をつけていること、大切にしていること」

「教師になってよかったこと」

「教育者として大切なこと」

などの事前にいただいた質問事項に答えながら、生徒自身が考えている教育についてお互いに情報共有を行いました。次に、それらの質問に関係するような昨今の教育課題や教員採用試験で話題となっている教育テーマにてディスカッションをしました。最後に、まとめとして本学のカリキュラムを例に教育学部で学ぶこと、教育学部でしか学べないことについて話をさせていただきました。



次のページに続く

2025年7月22日

## 道徳教育ゼミが明野小学校で出前授業

道徳教育ゼミ(学生12名、担当:渡邊毅)が、7月4日(金)と11日(金)に2回にわたり6年生4クラスで道徳の出前授業を行いました。学生たちは、三重の偉人である御木本幸吉と尾崎号堂の物語教材を協同で自作して授業に臨みました。先生になりきった学生の質問に子供たちはハキハキと答え、グループ活動の中でお互い対話を深めることができました。

子どもたちがワークシートに書いた授業感想の中に、

「私が何か挑戦するとき、この話を思い出して勇気をもらおうと思いました」

「つらい事やしんどい事があっても、あきらめないで目標に向けてがんばっていきましょうと思いました」

「大学生さんの授業がすごくよかったです」

などの意見が見られ、それを読んだ学生たちの嬉しそうな顔が印象的でした。



次のページに続く

2025年7月21日

進路（教育分野）ガイダンス in 滝川高校：上野&信川先生

7月18日（金）、滝川高等学校1年生と中学校3年生計40名に対して、教育分野についてのガイダンスを行いました。当日は以下の内容についてお話をさせていただきました。

- ・教育学部で行う学問研究内容や授業内容
- ・教育分野で学んだことは社会でどのように生かせるか、関連する仕事は何があるのか
- ・学問・業界の最新同行や将来の見通し
- ・高校でしておくべきこと

などについて具体的な経験をもとにお伝えいたしました。

今回は今年から本学にお見えになられた信川先生にもお話させていただきました。



次のページに続く

2025年7月21日

進路ガイダンス（教育分野）in 津田学園高校：上野先生

7月17日（木）、津田学園高等学校2年生約40名に対して、教育分野についてのガイダンスを行いました。高校2年生ということで、これから本格的に進路選択を考えていくにあたり、

- ・教育学部とはどんなところ？
- ・高校生のうちにやっておいた方がよいことは？
- ・免許を取るにあたり必要なことは？
- ・教育学部と他学部との違いは？
- ・昨今の教育課題や教育問題は？

などについて、経験を交えながら具体的にお話させていただきました。



次のページに続く



2025年7月15日

## 中部教育学会第73回大会が開催

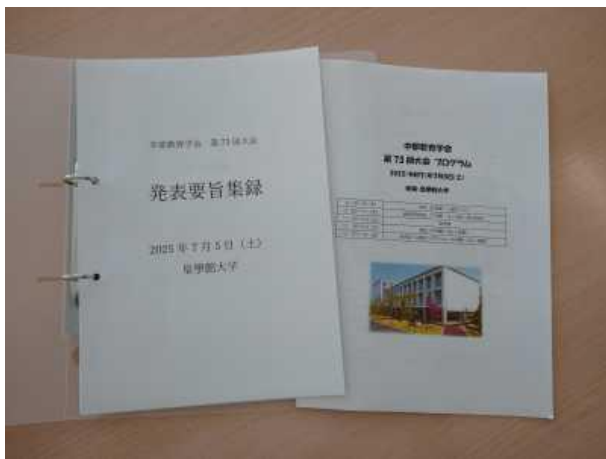
令和7年7月5日（土）、中部教育学会第73回大会が皇學館大学で開催されました。井上兼一准教授が大会実行委員長、野々垣明子准教授が事務局長を務め、運営委員会が組織。大学院生、学部生の協力のもと、大会に向けて準備と運営が進められました。

同学会は、学術会議協力学術研究団体に所属しており、中部地方における教育学研究を牽引してきました。三重県で大会が開催されるのは、平成16年以來のことでした。

午前は研究者・大学院生による自由研究発表。幼児教育、教師論、授業論など、7つの分科会が設定され、活発な議論が繰り広げられました。各テーマに関心を持たれた研究者に加えて、本学の学生の参加が多数ありました。最新の研究成果を熱心に聞き入り、貴重な機会になったようです。

午後は「『特別の教科 道徳』の成果を振り返り、今後の可能性を問う」と題した公開シンポジウムが開催されました。渡邊毅教授のコーディネートのもと、3名のシンポジストが登壇。小学校および中学校の教育実践、教員養成の立場から、学校現場に根ざした報告が行われました。意見交流においても質疑が絶えず、予定の時間では足りないほどでした。終日で120名をこえる参加があり、盛況となる学術大会でした。

本大会の開催にあたり、大学からは施設の利用のほか、様々なご支援を賜りました。末筆ながら御礼申し上げます。



次のページに続く

2025年7月14日

### 3年生スポーツ大会

令和7年7月10日（木）、3年生の学級委員が企画したゼミ対抗ソフトバレーボール大会が開催されました。

参加したのは3年生の15ゼミ。お揃いのTシャツを身につけて集まったゼミもあり、総合体育館メインアリーナは大盛り上がり！「絶対勝つぞ！」と気合十分のチームもいれば、「楽しく盛り上がればOK！」という笑顔あふれるチームも。応援席では、学年の仲間や先生たちが大声でエールを送り、ファインプレーが決まるたびに歓声と拍手が響き渡りました。

学年みんなで楽しむ大規模イベントは、1年生のときに行った謎解きウォークラリー以来。全員が一緒になって汗を流し、笑い合い、思い出を共有できるこの時間は、まさに学生生活の宝物です。

これから教育実習や就職活動など、忙しい日々が待っている3年生。だからこそ、この一日はかけがえのないリフレッシュの機会になりました。



2025年7月13日

## 「びよびよ活動 夏祭り」第1回 開催報告

春学期のびよびよ活動を締めくくる最後のイベント「夏祭り」が、7月9日・16日の2回にわたって開催されます。

第1回目となる9日は、ボーリング、金魚&アヒルすくい、積み木、ボール転がしといった遊びのブースに加え、手作りうちわの制作や、かき氷をテーマにした“ハメ顔写真”コーナーなど、多彩な企画を用意しました。

当日は、通常より多い15組の親子が参加していただき、会場はにぎやかで楽しい雰囲気になりました。学生たちも、準備やリハーサルに汗を流しながら取り組んできた成果を実感できる一日となりました。



次のページに続く

2025年7月13日

進路ガイダンス：上野先生

7月10日（木）、三重県立四日市西高等学校2年生30名に対して、教育分野についてのガイダンスを行いました。

教育学部へ進むにあたり、高校生のうちにやっておいた方がよいこと、免許を取るにあたり、教育学部と他学部との違い、また昨今の教育課題や教育問題を取り上げ、生徒たちと一緒に考えました。特に、「これからの教師不足を解消するためには」ということについて、高校生としての意見をたくさん聞くことができ、こちらもとても学び深き一日となりました。



次のページに続く

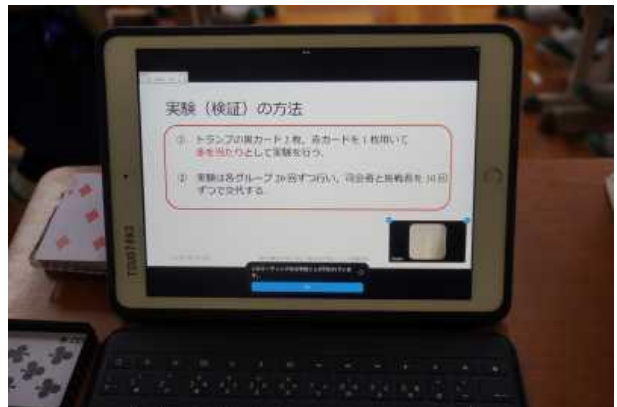
2025年7月13日

出前授業：数学教育ゼミ

7月9日（水）、津市立橋北中学校2年生（先生方含む）約200名に対して、3年生ゼミ生11名と共に「探究的な学習プラン」の授業実践についての出前授業を行いました。

今回は小学校の確率程度の知識で考えることができる内容の「モンティ・ホール問題」を題材として、実際にトランプを用いて検証（実験）を行いました。理論的な値と実際の値とを比べることで、確率の意味を考えるよい機会になったと思います。

今回は暑さも考慮して、各クラスで zoom を用いて行いました。初めての試みで不安ではありましたが、学生たちの活躍もあり無事に終了することができました。



2025年7月9日

進路説明（上野先生）in 三重県立相可高等学校

7月7日（月）、三重県立相可高等学校にお招きいただき、1～3年生の教育分野を志望している生徒に対して「教育学部で学ぶこと」について60分間お話をさせていただきました。教育学部でどのようなことを学ぶのか、取得できる免許状はどのようなものがあるのかなどから始まり、昨今の教育課題、これからの教育に必要なことなどを生徒たちとディスカッションしながら進めていきました。最後には、実際大学でどのような授業をするのかについても実例を交えながらお伝えしました。

生徒さんは皆さん非常に前向きで、とても充実した時間となりました。相可高校の皆さん、ありがとうございました。



次のページに続く

2025年7月7日

鈴鹿峠自然の家での野外活動体験：教育学会

真夏のような晴天の下、学生 11 名が亀山市駅に集合して関町沓掛にある鈴鹿峠自然の家に向かった。まず亀山市教育委員会から施設の説明を受けた後、ボーイスカウト指導者や亀山市市民会議の方々の指導を受けながら、かまどで飯盒炊爨、カレーづくりを行い、そのうちテント張りの講習を受けた。途中先輩でもある中原亀山市教育長も駆けつけてくださり、学生に激励の言葉を送ってくださった。飯盒で米を炊くことやカレーづくりは事前に大学でも練習をしていたこともあり、非常にうまくできた。それ以外の体験も、昭和初期にスリッパのような施設と鈴鹿峠の大自然に包まれながら、人々の協力を得て充実して送ることができた。教員になったときに今回の体験を大いに活かしていきたいと、参加学生誰もが感想を持った。



2025年7月7日

外部講師の講義に感動！！ 保育実習指導Ⅰ 児童福祉施設等

保育実習指導Ⅰ 児童福祉施設等の外部講師として、三重県子ども心身発達医療センターで保育士として活躍している、榎谷、岡田、奥山先生の3名をお迎えしました。3名とも本学出身者です。はじめに体を使ったアイスブレイキングでお互いの心を通わせた後、センターでの保育士の役割についての講義や、入所児童役と保育士役に分かれたロールプレイングなど、盛り沢山の内容で学生たちは楽しみながらも、熱心メモを取りながら講義を受けていました。保育士というと保育所や、児童養護施設で働くイメージしかなかった学生たちですが、医療の現場で子どもたちの生活に一番身近な存在として、さまざまな障がいや心の病を持った子どもたちの潜在能力を引き出そうとしている姿に、保育士という仕事の新たな価値を見出していました。何よりも先生方の保育士としてとても生き生きとした姿に魅せられた1コマでした。



次のページに続く



2025年7月4日

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）⑦：  
上野先生

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「大台探究」における探究活動の支援と中間発表会を行いました。これまで zoom を通してアドバイス等を行ってきた生徒に対して、今回は昴学園高校にて対面で実施しました。1学期の総括として、生徒がここまでの探究の成果を発表し、それに対して学生たちの方から質疑応答を行いました。

また、お昼は昴学園高校若宮校長のご厚意により、寮の食堂にて学食をご馳走になり生徒たちとの仲を深めていました。



大台探究 1学期 成果発表会

表紙 ( )

グループ	内容や特徴	発表の工夫	質疑応答の状況	発表力
藤原・上原				
前田・千葉・西田				
山本・西川				
伊藤・高田				

メモ



2025年7月3日

「びよびよ ふれあい会」7月の活動報告

7月に入り夏本番ですね。暑さに負けず元気にびよびよ活動を行っております。7月2日の活動ではお願いごとを短冊に書いて飾ったり、天の川の制作など七夕の活動を行いました。

室内はもちろん、室外でも砂場や滑り台などで楽しく遊んでもらいました。7月9日、16日は夏祭りを行う予定です。ぜひ参加してくださいね。



2025年6月30日

## 皇學館大学コーチング学研究室「はなまるキャンプ 2025」開催のお知らせ

教育学部准教授：佐藤武尊先生（自然体験活動指導者）が展開しているコーチング学研究室が、昨年に引き続き、「はなまる学舎」の活動を踏襲する「はなまるキャンプ 2025」を開催します。

参加ご希望の方はチラシの QR コードからお申し込みください。なお、募集については、原則、先着順とさせていただきます。定員を超えた時点で募集を打ち切りますので、予めご了承ください。

皆さまのご応募、お待ちしております。 チラシは[こちら](#)

※昨年まで叶俊文教授が行っていた「夏休み子どもキャンプ」とは、運営母体が異なるものとなります。予め、ご了承ください。

2025年6月21日

## 三重県立松阪高等学校3学年スーパーサイエンスハイスクール（SSH）② 発表会：上野先生

三重県立松阪高等学校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に関わる研究成果発表会に来賓として参加致しました。当日は、4月に開催されたポスター発表優秀作8作品がそれぞれ舞台上でプレゼンテーションを行い、その後参加者からの質疑応答がありました。最後に全体としての感想、講評等を来賓を代表して述べさせていただきました。



2025年6月20日

本学学生が Studyplus タイアップ記事の取材を受けました

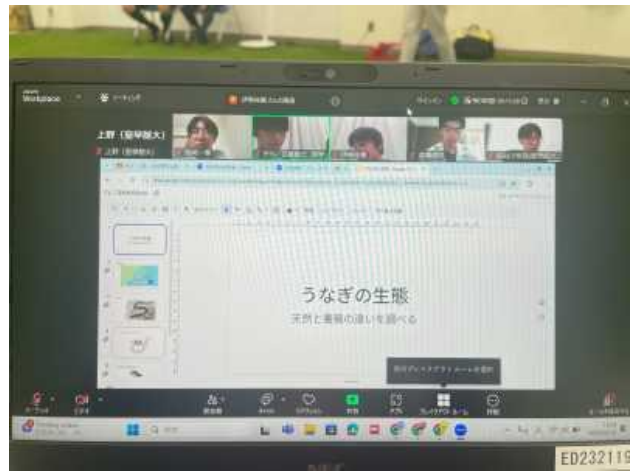
数理教育コース1年平田凛太郎さん（数学）と同じく1年安藤優衣さん（理科）との対談が Studyplus タイアップ記事として以下の通り公開されました。“なんとなく理系”だった自分が“先生になりたい！”と思うようになった理由

記事 URL : <https://www.studyplus.jp/2174>

2025年6月20日

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）⑥：上野先生

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「大台探究」における探究活動の支援を行いました。2回目の今回は、前回の反省も踏まえてできる限り生徒の考え、意見を引き出すことができるようチューターである学生たちは取り組んでいました。各グループ共に進歩成長が見られ、今後がとても楽しみです。次回は、7月に対面で中間発表会を行います。



次のページに続く



**2026年6月19日**

**「偉人プレゼン」 in 安藤塾のご案内**

道徳教育ゼミ（担当 渡邊 毅）では、毎年3年生のゼミ生が安藤塾で道徳の授業（「偉人プレゼン」）を行っています。学生が自分で選んだ古今東西の偉人のお話を安藤塾の生徒に語り聴かせます。偉人の生き方を通して学習の意義や志を立てていくことの大切さを子供たちに伝えるとともに、自身の授業の経験値も向上させています。

安藤塾のご厚意で、塾生以外でも参加・参観 OK です。

詳細は[こちら](#) チラシは[こちら](#)

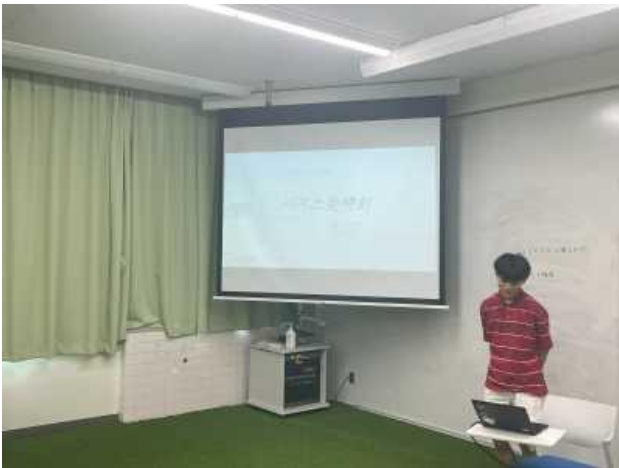
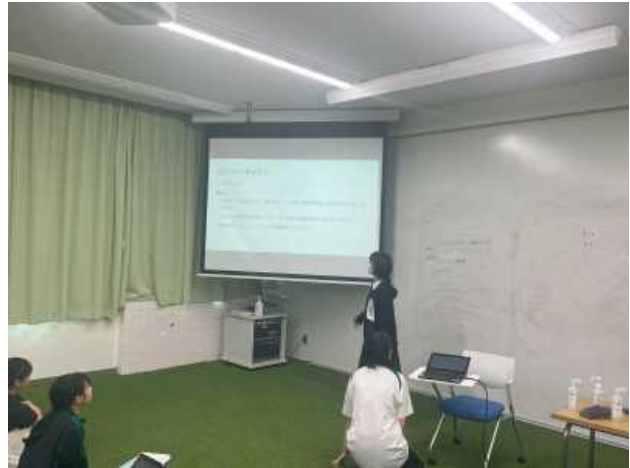
次のページに続く

2025年6月19日

三重県立昇学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）⑤：上野先生

三重県立昇学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「数学総合演習」の授業を担当させていただきました。

今回の前半は「データの見方と統計，確率」をテーマに実施しました。実際のデータをもとに，現実には起こりうる場面を想定して考察を行いました。そして、各グループで考察したことを Google スライドを用いて、発表と質疑応答を行いました。高校生ならではの視点があり、非常に面白い発表となりました。



次のページに続く

2025年6月12日

初年次ゼミでの活動

6月4日(水)、1年生初年次ゼミの調べ学習の調査として、多気町の VISON を訪問しました。平日の水曜日ということもあり、観光客はそこまで多くはありませんでしたが、観光客の方々のお時間をとっていただき、アンケート調査を行いました。

県外からわざわざお越しの方も見えたので、そのあたりのデータを上手く分析し、多気町の VISON を題材に地域活性化についての探究的な学習を今後進めていき、その成果発表を7月9日(水)に実施します。



2025年6月11日

出張びびよ：たきフェスに参加してきました！

6月7日（土）に多気の杜こども園・クリスタルの森で行われた「たきフェス」に、出張びびよとして2、3年生の8人がボランティア参加させていただきました。このイベントは子育ての輪を広げることを目的としており、園舎ではミニ縁日や絵本の読み聞かせ、栄養相談やアート体験、駐車場ではパトカーや救急車、消防車の体験、クリスタルの森ではヨーヨー釣りやキッチンカー、物販などたくさんのブースがありました。私たちはクリスタルの森の広場でパラバルーン、エビカニクスダンス、ボール遊びなどで子どもたちと交流しました。

元気な子どもたちとたくさん汗をかいて遊んだり、参加者の保護者さんとお話させていただいたり、貴重な経験をすることができました。



次のページに続く

2025年6月6日

「びよびよ ふれあい会」6月の活動報告

6月も元気いっぱいびよびよの活動を行っています。

6月4日（水）は7人のかわいいお友達に参加してくれました。今日の活動では、「くだものいろいろかくれんぼ」の絵本よみかせ、「バスにのって」のふれあい遊びを楽しみました。毎回、学生が手作りのお土産をお渡しするのですが、今日は「どうぶつのでんでん太鼓」でした。くま、パンダ、うさぎ、ねこの中から好きなものを選んでもらい、音を鳴らしながら「やまのおんがくか」のリズム遊びも楽しみました。

学生たちは、活動内容の企画を立案したあと、リハーサルを行ったり、お土産やチラシを作成したり、いろいろと準備をして本番に臨みます。参加してくれた方に精一杯楽しい時間を過ごしていただけるよう、心を込めて活動していますので、ぜひ遊びに来てくださいね。



2025年6月6日

宇佐美広介先生と澤江隆一先生を招いたワークショップ：教育学会

5月21日(水)に教育学会数理モデル研究部会の活動として、宇佐美広介先生(岐阜大学名誉教授)と澤江隆一先生(岡山理科大学名誉教授)を招いた学生向けのワークショップを開催しました。

宇佐美先生には、野球のホームランボールはどこまで飛ぶのかを解説して頂きました。初速を180(km/h)とすると、ボールは約255mまで飛ぶようです。

澤江先生には、12音階と3平方の定理との関係として、現在「ピタゴラス音律」と呼ばれているものを紹介して頂き、実際の音をギターで聞かせて頂きました。最後に、ミッションインポッシブルと鬼平犯科帳の主題歌のギター演奏があり盛り上がりました。学生からは大谷選手のホームランについて飛距離や初速に関連した質問があり、野球を数学することについて関心があるのが伺えました。



次のページに続く

2025年6月2日

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）④：上野先生

5月28日（水）、三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「数学総合演習」の授業を担当させていただきました。

今回は「確率」をテーマに実施しました。まずは、身近な問題を例に「最適停止問題」について考えました。そして次に本題である「モンテ・ホール問題」について、実際にトランプの赤色を当たり、黒色を外れとして実験を行いました。そして、実験をもとに実際の確率についても求め、実験のデータとの誤差について議論を行いました。



次のページに続く

2025年5月27日

幼保職をめざす学生の夢を全力サポート！音楽実技対策講座を実施しました

5月26日、幼稚園や保育所への就職を目指す学生を対象に「音楽実技対策講座」を実施しました。この講座では、公立園の公務員試験や私立園の就職試験に向けて、使用する楽譜の選び方、効果的な練習法、当日の持ち物の準備など、実技試験に必要なポイントを実践的に学びました。また、演奏時の姿勢や動作といった「所作」のトレーニングも行い、実技全体の完成度を高める内容となりました。

本学では、試験直前の個人レッスンも受けることができるなど、学生一人ひとりの夢を実現するための手厚いサポート体制が整っています。実践的な学びときめ細やかな指導で、学生たちは自信をもって就職試験に臨むことができます。



2025年5月23日

中日新聞に掲載されました

5月15日に掲載した、『三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）③：上野先生』の活動について、中日新聞にも掲載されました。

中日新聞・朝刊（松阪・紀勢版） 2025年5月21日（水）12頁

Web記事はこちら

2025年5月19日

夕刊三重新聞の取材を受けました

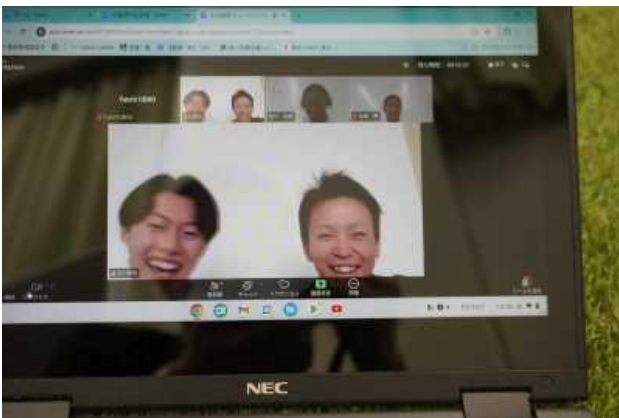
5月15日に掲載した、『三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）③：上野先生』の活動について、夕刊三重様に取材をいただきました。記事の内容は、[こちら（すでにページは削除されました）](#)

2025年5月17日

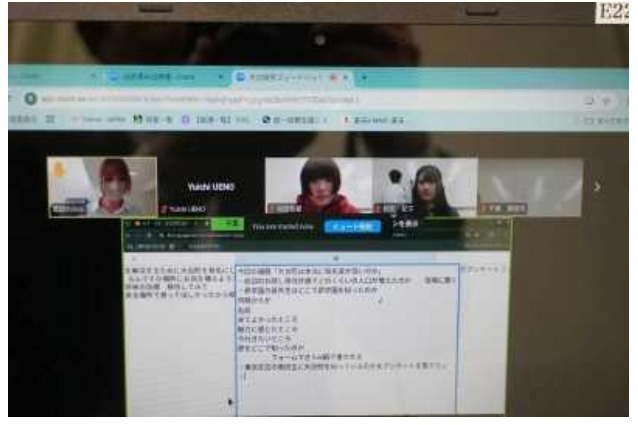
三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）③：上野先生

5月15日（木）、三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「大台探究」における探究活動の支援を行いました。

今回より、3年生のゼミ生が探究活動のメンターとして関わらせていただくことになりました。4班に分かれてzoomを用いて、生徒たちの探究のテーマや研究方法についてのアドバイスをさせていただきました。生徒&学生どちらにとっても深い学びとなり、とても良い時間を過ごさせていただきました。次回は一か月後に行います。



次のページに続く



次のページに続く

2025年5月15日

## 「びよびよ ふれあい会」がはじまりました！

5月14日から令和7年度の「びよびよ ふれあい会」がはじまりました。

第1回目は3年生の6名が担当でした。3か月～2歳までのお友達が参加され、手遊びや絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びやお散歩ごっこなどで楽しんでもらいました。学生たちも初めての担当に緊張しながらも、一生懸命企画・練習して本番に臨み、参加者の笑顔に助けられながら無事に開催できたことにほっとした表情を見せていました。

このような貴重な経験を、保育者になるための実践的な学びにつなげていけるよう、頑張って開催していきたいと思います。



2025年5月12日

## 倉志会・つばさの合同オリエンテーションが開催されました

2025年5月8日（木）、教員を目指す学生を対象とした倉志会・つばさ合同オリエンテーションが本学 231 教室にて開催されました。

オリエンテーションでは、齋藤学長のご挨拶をはじめ、各学部長からの激励、つばさ・倉志会それぞれの担当教員による活動説明、そして学生代表による活動報告が行われました。実際に活動に参加している学生の生の声や実績が紹介され、参加者にとって今後の学びの道筋を考える大変貴重な機会となりました。

最後には教職支援担当者から、教員採用試験に向けた支援体制の紹介があり、会場は教職を志す学生の熱気に包まれました。

本学では、学生主体の取り組みを通じて、教員としての資質向上と仲間とのつながりを深める支援を続けてまいります。



次のページに続く

2025年5月9日

三重県立昴学園高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール) ② :  
上野先生

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール) に関わる取り組みとして、2年生「大台探究」における探究活動の支援を行いました。

前回よりスタートした探究活動において、今回は具体的なテーマ設定を中心に各グループのメンバーにて知恵を出し合いながら取り組んでいました。次回 (来週) のこの時間には、3年生のゼミ生が探究活動のメンターとして、各グループの活動に関わらせていただきます。



次のページに続く

2025年4月26日

## 大学生「探究」メンターの説明会&県立高校校長先生による講演：数学教育ゼミ

4月25日（金）、午後より三重県立昴学園高等学校校長の若宮一哉先生、大台探究やDX事業の主担当であります山崎恵介先生にお越しいただきまして、山崎先生には大学生「探究」メンターの説明会を、若宮校長先生にはこれからの教育現場で大切なことなどをご自身のご経験をもとにお話いただきました。

探究のメンター活動につきましては、これから始まる大台探究における高校生の探究活動に対して、ゼミ生がメンターとしてコメント等を行わせていただきます。第1回目は5月に行われる予定です。こちらについては随時ご報告させていただきます。

後半は若宮校長先生より、教師として大切なこと、大学生の今やっておくべきことなどについて具体的にお話をいただきました。また学生たちの質問にも非常にご丁寧にご対応いただきました。

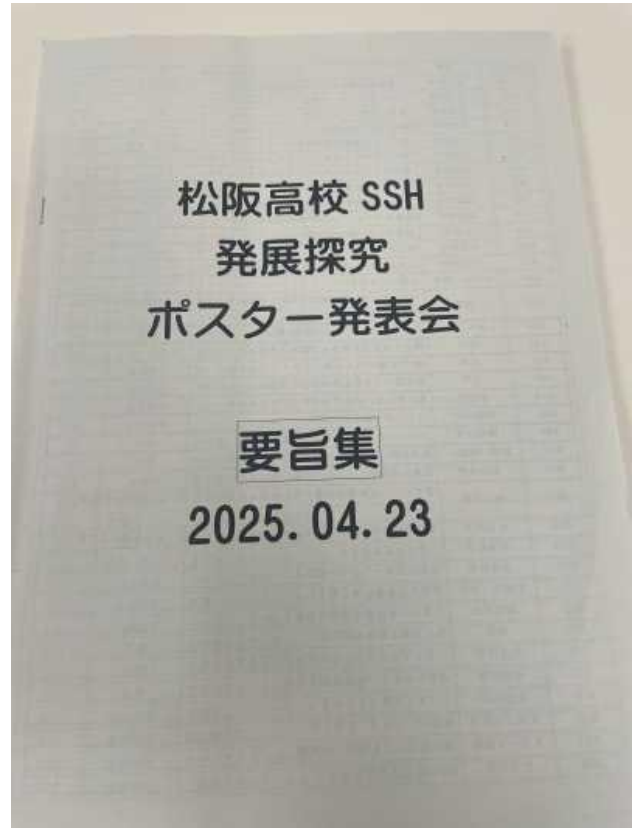
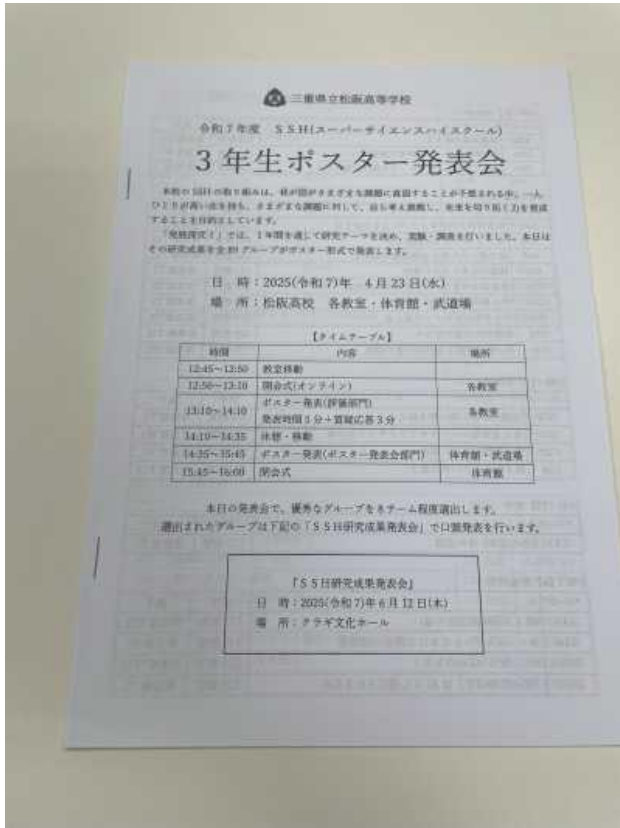


次のページに続く

2025年4月26日

三重県立松阪高等学校3学年スーパーサイエンスハイスクール（SSH）ポスター発表会：上野先生

4月23日（水）の午後、令和7年度三重県立松阪高等学校3学年スーパーサイエンスハイスクール（SSH）ポスター発表会にスーパーサイエンスハイスクールの運営指導委員として参加させていただきました。3年生全員がこれまで研究・探究してきたことをもとにポスター発表を行いました。全員による評価ののち、上位8グループが6月に行われる全体の発表会に進出されます。次も委員として参加させていただく予定です。とても楽しみです。



2025年4月26日

三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）：上野先生

4月23日（水）三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、2年生「数学総合演習」の授業を担当させていただきました。

今回は「敷き詰め」をテーマに、正多角形を用いてどの図形であれば敷き詰めが可能であるのか、またどの図形は敷き詰めが不可能であるのかを考察しました。その後、いろいろな図形を組み合わせて各自が敷き詰めを利用して図形を作成しました。生徒たちが自主的・主体的に活動する姿が随所に見られ、とても有意義な活動となりました。



2025年4月24日

## 「令和7年度 ぴよぴよ ふれあい会」のご案内

今年度も本学保育実習室で地域子育て支援活動を行います。令和7年度は学内で年間21回を予定しています。

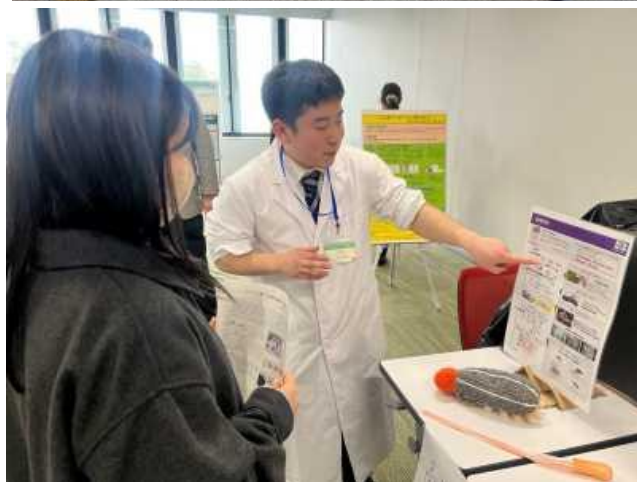
地域子育て支援活動の目的は、①子どもの遊び場として、②保護者の子育て相談の場として、③学生の実践的な学びの場として、④教育研究活動の場として、⑤大学の地域貢献の場として、です。こうした目的とともに、保育技術の向上も目指しています。ぜひご参加ください。

詳細（チラシ）は[こちら](#)

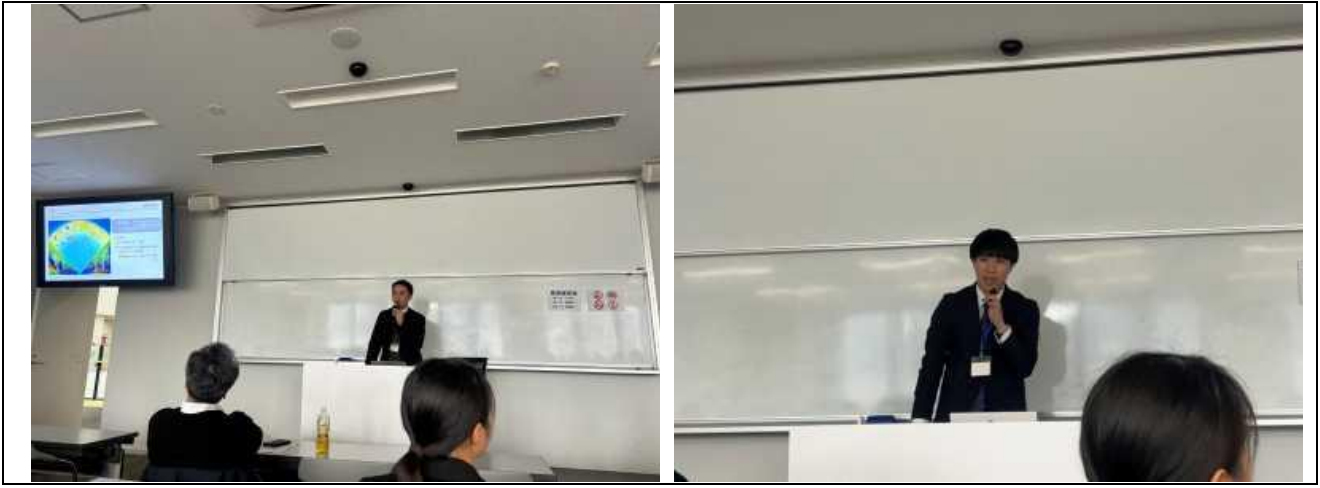
2025年4月14日

## 日本生物教育学会第109回全国大会にて大学院生・学部生・教員が発表しました

2025年3月15・16日、広島県の安田女子大学で開催された日本生物教育学会第109回全国大会にて、本学の大学院生・学部生・教員が研究成果を発表しました。教育学部の学生たちは中松豊教授、澤友美准教授とともに、幼稚園から高等学校を対象に開発した昆虫教材を紹介するワークショップを実施しました。また、非常勤講師の奥村雄暉氏はEVE配列に関する教材開発、大学院生の二宮功至氏は昆虫の心臓の拍動を視覚的に観察できる教材について発表しました。さらに、鳥羽東中学校の先生も、本学の生物学研究室、理科教育学研究室と連携した授業実践の成果を報告されました。全国の教育関係者に向けて発信できた本大会は、学生にとっても大変貴重な経験となりました。



次のページに続く



2025年4月14日

三重県立昴学園高等学校にて文部科学省DX加速化推進事業「大台探究」：  
上野先生

4月10日（木）、三重県立昴学園高等学校にて文部科学省DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、今年度最初の「大台探究」の授業が行われ参加させていただきました。

これから始まる文部科学省DX事業の一環として、これまで行なってきた「大台探究」をより深め、学生や地域も巻き込みながら行っていきます。特に本学の学生が生徒たちのメンターとなり、今後生徒たちが探究を進めていくにあたりアドバイス等を行わせていただきます。



次のページに続く

2025年4月3日

令和7年度入学式

本日4月3日(木)は、令和7年度入学式でした。満開の桜が、新入生を迎えてくれました。



次のページに続く

2025年4月1日

第69回日本応用動物昆虫学会大会に参加しました：生物学研究室

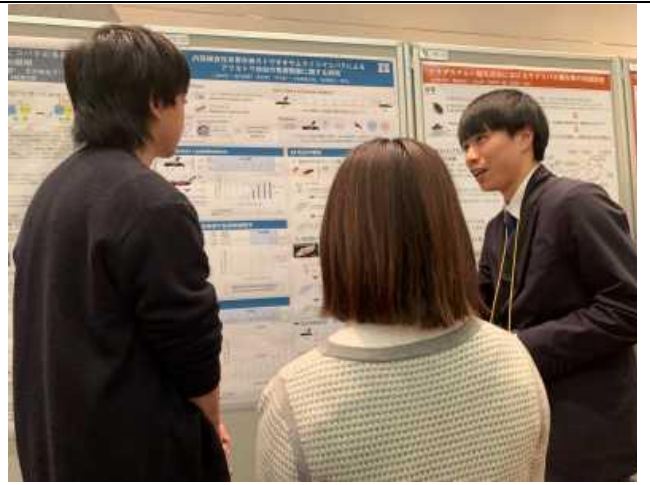
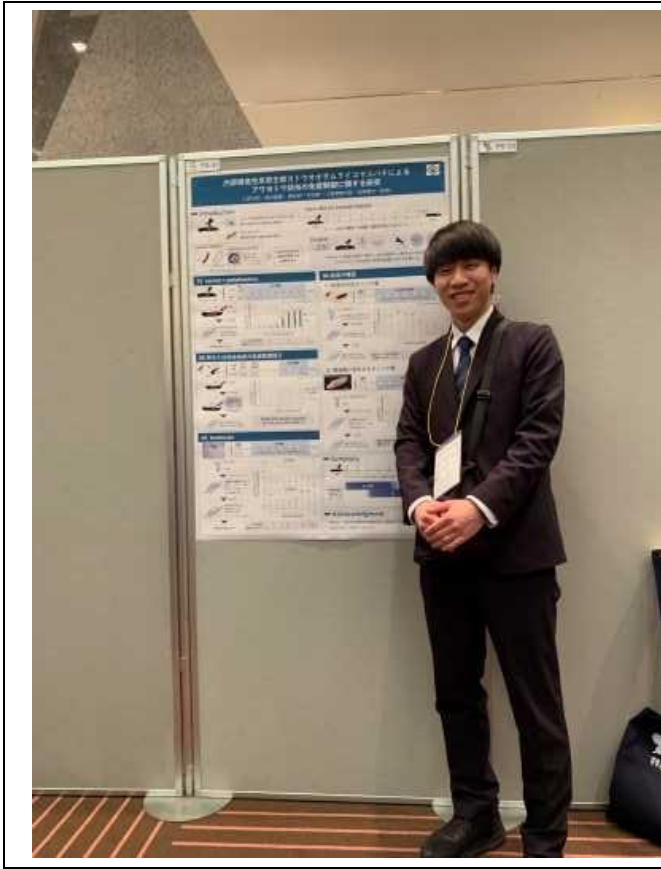
2025年3月20日から3月22日にかけて、千葉市の幕張メッセ国際会議場にて第69回日本応用動物昆虫学会大会が開催されました。本学からは、大学院2年生の二宮功至さんが「内部捕食性単寄生蜂ヨトウオオサムライコムバチによるアワヨトウ幼虫の免疫制御に関する研究」と題してポスター発表を行いました。

また、卒業生であり現在は非常勤講師を務める奥村雄暉先生が「カリヤコムバチ漿膜由来の二種の細胞の寄主に対する免疫抑制能力の比較」、同じく卒業生で伊勢市立小俣小学校教諭の松谷広志先生が「Mythimna separata 体腔中の循環血球である hyperspread cell の起源について」と題して口頭発表を行いました。

本大会では、昆虫の生理学や生態学をはじめとして多岐にわたる研究発表が行われ、参加した学生たちは他大学の研究者や学生達と活発な意見交換を行い、貴重な知見を得ることができました。このような学会発表や交流の場は、学生にとって大きな刺激となり、今後の研究活動の意欲を高める貴重な経験となりました。



次のページに続く



次のページに続く

2025年3月26日

## 核融合科学研究所と岐阜県先端科学技術体験センターを訪問しました

皇學館大学教育学部の学生が、将来の教員としての視野を広げることを目的に、岐阜県にある「核融合科学研究所」および「岐阜県先端科学技術体験センター（サイエンスワールド）」の見学を行いました。

本見学会では、理科教育におけるエネルギー分野の理解を深めるため、最先端の科学技術やその社会的意義について学びました。「サイエンスワールド」では、体験型展示や実験ショーを通じて、エネルギーに関する基礎的な原理から応用までを楽しく学ぶことができました。学生たちは、子どもたちに理科の楽しさをどう伝えるかという視点で見学し、教育現場での活用方法についても意見を交わしていました。

「核融合科学研究所」では、未来のエネルギーとして注目される核融合技術について、研究者から直接説明を受ける貴重な機会となりました。エネルギー問題や持続可能な社会についての理解を深めるとともに、理科教育における最新の話題としての捉え方を学ぶことができました。

本見学会は中部原子力懇談会三重支部様の支援を受けて実施されました。ご協力のおかげで、学生たちは最先端のエネルギー技術に触れ、教員としての視野を大きく広げることができました。貴重な学びの機会をご提供いただいたことに深く感謝申し上げます。



2025年3月26日

皇學館中学校で「ヒトと昆虫の体の仕組みを比較して共通点や相違点について考え見つける」をテーマに出前授業を実施しました

2025年2月19日、皇學館大学教育学部の生物学研究室と理科教育学研究部の学生が、皇學館中学校にて中学2年生を対象とした出前授業を実施しました。

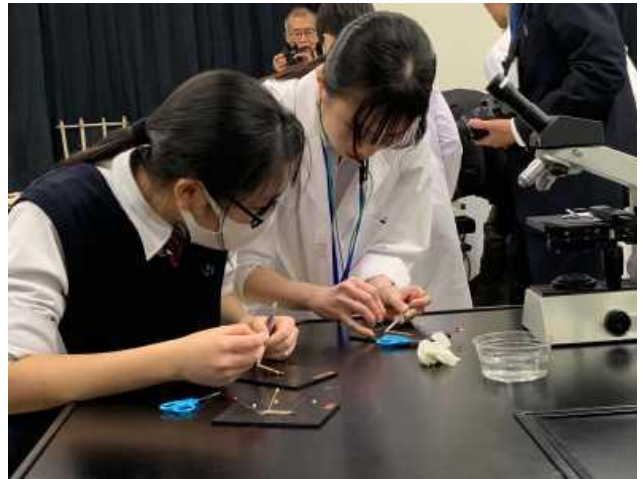
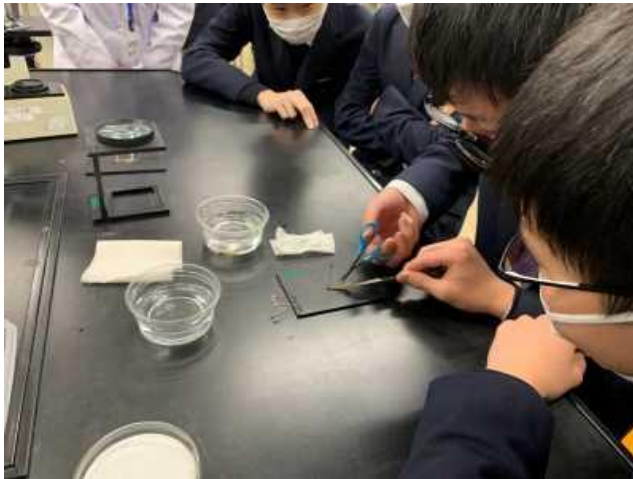
今回のテーマは、「ヒトと昆虫の体の仕組みを比較して共通点や相違点について考え見つける」です。授業では、大学生が開発した教材や実験を活用しながら、生徒たちが体のつくりについて探究的に学ぶ機会を提供しました。

中学生は、アワヨトウ幼虫の血球を顕微鏡で観察し、昆虫は赤血球が無いことを確認しました。また、蛍光インクを用いて背脈管（はいみやくかん）の中を流れる様子の観察にも取り組み、昆虫における循環のしくみを視覚的に理解しました。

大学生は授業のサポートを通じて、生徒一人ひとりに顕微鏡の扱い方や観察のポイントを丁寧に指導しました。中学生たちは、身近なヒトと昆虫という異なる生き物の体の比較を通して、共通性や多様性への関心を高め、科学的に物事を捉える視点を養っていました。

生物学研究室 HP : <https://kogakkan-bio.sakura.ne.jp>

理科教育学研究室 HP : <https://kogakkan-science.sumomo.ne.jp/>



2025年3月26日

桜の花が咲き始めました

本日（3月26日）の午後、桜の開花が見られました。入学式のころには満開でしょうか。



次のページに続く

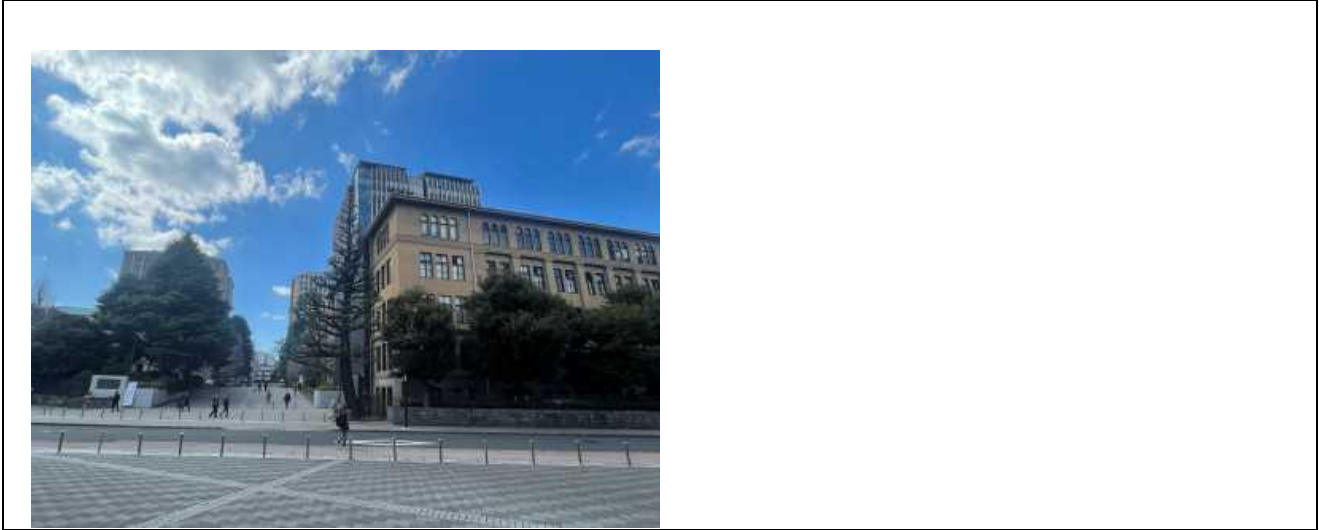
2025年3月24日

2025 日本数学会年会参加：上野先生

3月18日（火）～21日（金）にかけて早稲田大学にて行われてた2025日本数学会年會に参加させていただきました。今回参加させていただいた分科會は無限可積分系の分科會で、現在研究対象としているパンルヴェ方程式やそれに関連する講演がたくさんありました。特に午後から行われた青山学院大の川上氏の講演「スペクトル型を軸としたパンルヴェ型方程式の包括的理論に向けて」は非常に興味深く、今後の研究の参考になりました。また終了後、多くの研究者とディスカッションも行き、とても有意義な学会出張となりました。



次のページに続く



次のページに続く

2025年3月24日

## 日本教育情報学会特別支援教育 AT 研究会へ参加：特別支援教育工学研究室

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）のセンター棟307・401・404で開催された日本教育情報学会のSIGのひとつである特別支援教育 AT 研究会 2025に参加し、新4年生は卒業論文の構想発表を行いました。（午前の部）

去る2月10日教育学科では卒業論文構想発表会を実施しましたが、そこでの指定討論者の質疑応答を受け、具体的な研究計画や協力機関・者への依頼等が進められています。特別支援教育 AT 研究会に参加された他大学や研究所、学校現場の先生方、他大学の学生との質疑応答を通して、さらに研究を深めていきました。新3年生は発表・質疑を聞くことで自分の研究の構想を温めていきました。午後の部では各大学教員や大学院生、現場の先生方の研究発表を拝聴しました。大学院に進学する本学卒業生2名も発表し、活発な意見交換が行われました。

本学教育学科の卒論構想発表予稿集はpdfファイル版ですが、日本教育情報学会特別支援教育 AT 研究会 2025の予稿集は冊子版も作成され、細かい表現や引用についての指摘もいただきました。学生達にとって良い学びの場となりました。次年度の開催会場は本学を予定しています。



2025年3月24日

## 米国 CSUN Assistive Technology Conference にて学部4年生（本学大学院進学予定）が連名発表しました：特別支援教育工学研究室

令和7年3月10日～14日に米国 CSUN (California State University, Northridge) で開催された CSUN Assistive Technology Conference に参加し、本学教育学科4年生（令和7年度4月より本学大学院教育学研究科進学予定）の庄司衣吹さんが、帝京大学の金森克浩教授とともに研究成果を発表しました。

発表論文「Eye-Tracking eSports for Gamers with Severe Disabilities」の著者は金森克浩教授（帝京大学）、大杉成喜教授（本学教育各研究科）、庄司衣吹さん（本学4年生）、大江泰聖さん（本学4年生）、梶山紘平さん（当事者ゲーマー）の連名で、大杉教授の科学研究費助成事業（科研費）の成果発表として位置づけられます。「The Journal on Technology and Persons with Disabilities」Scientific/Research Proceedings, Online 2025（査読あり：pp.122-130）に掲載され、公開されました。論文の Fig.2 には庄司さん本人の説明写真も掲載されています。

当日の発表では庄司さんは主に技術面での報告とサポートを行いました。連名発表者の梶山紘平さん（ストリートファイター6マスター）とオンライン対戦を行い、好評を博しました。発表会場の Room-1（100席）は満席で、参加者からは重度身体障害者の視線入力によるゲーム操作についてたくさんご質問をいただきました。



2025年3月23日

## “国立妙高青少年自然の家”に行ってきました：体育実技（野外活動）

教育学部の専門科目には「体育実技（野外活動）」という授業があります。この授業では、様々な体験活動を夏季と冬季に分けて実施します。2/17～20の4日間、新潟県妙高市にある国立妙高自然の家で冬季実習として体験活動を行いました。この実習では、雪山（妙高）に登り、スキーはもちろんの事、雪像やイグルー（かまくら）を作り、ナイトカフェと称して、昼間に作ったイグルーの中で、みんなで湯茶を片手に近況報告や未来を語り合いました。

実習の詳細は[こちら](#)

2025年3月19日

## 令和6年度学位記授与式

令和7年3月18日（火）は学位記授与式。本学では早朝から神宮を参拝して卒業を報告します。内宮では特別に御垣内で参拝しますが、学生が経験できるのはこの時だけです。大学に戻り、記念講堂で式典が厳かに執り行われました。

令和3年4月に遡ると、当該学年はコロナ禍で通常の入学式を行うことができませんでした。1～2年次はオンライン授業がほとんどで、学生相互の交流および課外活動が休止。制限が多いキャンパス生活を強いられました。3～4年次は授業のほか、実習や就職活動に追われる日々で、瞬間に時が過ぎていきました。その合間に開催したレクリエーション大会や4教ミュージカル公演など、学年全体での良い思い出が残っています。

個々の学生が努力を重ねて、今日という佳日を迎えることができました。卒業生全員が一堂に会することができて、喜ばしい限りです。教育学部では217名が巣立つことになりました。県内外に奉職して、新たなスタートを切ることになります。学友と結んだ絆を今後も大切にしてください。みなさんが新天地で活躍されることを心より祈念いたします。



〈神宮にご報告〉



〈HAPPY！〉



〈満開で祝賀〉



〈学位記の授与〉

次のページに続く



〈教育学部の集い〉



〈学び舎〉

2025年3月12日

### 卒業記念ミュージカル

2025年3月8日・9日に、皇學館大学教育学部卒業記念ミュージカル（4教ミュージカル）が皇學館大学記念講堂で開催されました。教育学部4年生有志が集まって企画する子どもを対象とした公演で、30年以上続く伝統でしたがコロナ禍によって中断し、今回は5年ぶりの開催でした。今年は教育学部4年生を中心に76人のキャスト・スタッフによって運営され、のべ約700人の方々に楽しんでいただきました。

海洋ごみという今日的なテーマを扱いながらも、子どもも楽しめる内容のオリジナルストーリーで、公演中は主人公を応援する子どもたちの声が会場に響きました。物語の終盤ではキャストだけでなくスタッフも客席に集まり踊って盛り上がり、ラストは暖かい感動に包まれました。

「素晴らしい時間を過ごせました。」「たのしかった。げきがすごかった。がっきもすごかった。（父代筆）」「環境問題についても子供たちにも考えられやすいように取り入れていましたね。」「今日は素晴らしい歌と演技を見せていただきありがとうございました。"すごよかったね"と後ろに座っている子どもが感激して言っていました。」と、来場した方々に喜んでいただきました。



次のページに続く



2025年3月11日

梅の花が咲きました

梅の花が咲きました。桜の花も、もうすぐですね。



2025年3月11日

## 津市立橋北中学校第3回「探究的な学習プラン」の授業実践：上野ゼミ

2月28日（金）、津市立橋北中学校1年生（先生方含む）約200名に対して、「探究的な学習プラン」の授業実践についての講演を行いました。今回はデータの活用や将来的に学ぶ統計的な学びを題材にしました。具体的には、実際に15秒をストップウォッチ等で計測し、どのクラスが一番15秒に近いかを「根拠」をもって説明できるようにしようというテーマで進めていきました。最後には、実際にエクセルを用いてグラフを作り、全員で検証を行いました。今回は2年生の上野ゼミ11名全員参加し、エクセルの使い方やグラフ作成の補助など生徒の疑問等に適切に対応することができていました。

以下は参加した学生の感想文になります。感想文は[こちら](#)。

2025年3月11日

## 健康支援学会で4年生学生がポスター発表しました：健康科学研究室

3月7日（金）、8日（土）の2日間、川崎市のShimadzu Tokyo Innovation Plazaにおいて、第26回日本健康支援学会年次学術大会が開催され、健康科学研究室4年生の伊藤晃太郎さんが、卒業論文の内容・テーマで、ポスター発表をしてきました。物怖じすることなく（？）、著名な先生方とのディスカッションもこなしていました。他大学の学部生や大学院生の発表もあり、伊藤さんと同年代・近い年代が活躍していることから、彼自身、とても刺激になったようです。

学会大会のホームページは[こちら](#)



2025年3月9日

鈴鹿高等学校1年生「総合的な探究の時間」の校内（成果）発表会への参加：数理教育コース

2月21日（金）に鈴鹿高等学校1年生「総合的な探究の時間」の構内（成果）発表会に数理教育コースの2年生と参加し、助言及び指導をさせていただきました。当日は各グループ6名程度に分け、その中でこれまで自分自身が調査したこと、分析したことなどを踏まえ発表を行いました。その後、質疑応答が行われ、今後の探究に向けたアドバイスもさせていただきました。

最後に全体の前で、総括と今後に向けてお話をさせていただきました。

2025年3月9日

第21回数学総合若手研究集会～数学の交叉点～に参加&研究発表：上野先生

3月3日（月）～7日（金）まで、北海道大学札幌キャンパス理学部5号館にて行われた第21回数学総合若手研究集会～数学の交叉点～に参加&研究発表をさせていただきました。解析、代数、幾何の大きく分けて3つの分野にて多くの若手研究者が発表を行いました。私も解析分野にて、「3変数量子 Garnier 系の Takano 理論について」というタイトルで発表しました。

3月の北海道はまだ雪も多く、とても寒かったです。充実した研究集会となりました。

公式サイトは以下の通りです。

<https://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~wakate/mcyr/2025/ja/index.html>



2025年3月9日

ミュージカル俳優王子菜摘子先生・サクソ奏者 YURINA 先生を招いた  
ワークショップ：教育学会

ミュージカル俳優の王子菜摘子氏と、サクソ奏者の YURINA 氏を招いて、卒業記念ミュージカルのキャストや演奏者やスタッフの学生を中心に指導していただきました。

詳細は[こちら](#)



2025年2月28日

国際研究集会「Asymptotic Expansion of  $\tau$ -functions and related topics」に参加しました：上野先生

2月17日（月）～2月21日（金）まで、京都大学数理解析研究所（RIMS）にて開催された国際研究集会「Asymptotic Expansion of  $\tau$ -functions and related topics」に参加しました。

スケジュール等のリンクは以下の通りです。

<https://sites.google.com/view/rim2024/ws4>

日本各地だけでなく、海外から多くの研究者も参加され、非常に活気ある研究集会となりました。



2025年2月28日

### 皇學館中学校との中大連携事業③：片山先生

2月21日（金）に中大連携事業が皇學館中学校にて行われました。3年生を対象に、スポーツの意義や、そもそもスポーツとは何か、体育や運動との違いについて解説しました。スポーツをすることが苦手な生徒が多かったようですが、これを機に、プレーすることは不得意でも、スポーツ（する人）を応援・支援してくれるなど、少しでもスポーツに興味・関心を持ってくれたらと思います。



2025年2月25日

### 「第5回私たちの未来のための提言コンテスト」入選

社会科教育学ゼミでは、原子力発電環境整備機構（NUMO）が主催する「第5回私たちの未来のための提言コンテスト」に取り組みました。コンテストのテーマは、「どうしたら、高レベル放射性廃棄物の課題を多くの人たちが自分ごととして考えるようになるか？あなた（たち）は何をしますか？」です。

原子力発電の是非や、原子力発電から生まれた高レベル放射性廃棄物の処理方法については、様々な議論がなされています。これは、科学的な知識が求められると同時に、社会的な判断力、意思決定力、合意形成力が求められる問題です。脱炭素社会を目指すために、避けては通れない議論として本ゼミでは、エネルギー問題について学習を続けてきました。その成果として、コンテストに応募した結果、4名（3年生3名、2年生1名）が入選を果たしました。この成果を基にさらに学習を進め、来年度は入賞を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



2025年2月21日

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に係る出前講義「データサイエンスにおける統計的理論」：上野先生

2月15日（土）に三重県立松阪高等学校 2年生理数科の生徒を中心とした約100名に対してスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に係る出前講義「データサイエンスにおける統計的理論」を実施しました。実際にデータを測定し、そのデータに基づき、根拠（図や表等）に基づき発表をしてもらいました。その後、SSH活動を通して身に付けたい力やこれからの時代において求められている力について具体的な話をさせていただきました。



2025年2月14日

岐阜県立恵那高等学校 1年生総合探究「社会課題に取り組もう」：上野先生

2月12日（水）、岐阜県立恵那高等学校 1年生総合探究「社会課題に取り組もう」の教育分野において、まず生徒の方から「よい授業とは」「ICTを用いることで学力は向上するのか」「教師に求められる能力」についての研究発表をしていただき、それについての質疑応答を行いました。その後、私の方から統計的探究プロセスについてのP D A Cサイクルについて、具体例を交えながら生徒にお話をさせていただきました。



2025年2月12日

## 第8回数理新人セミナーで講演しました：上野先生

2月11日（火）から14日（金）まで名古屋大学大学院多元数理科学研究科を中心に第8回数理新人セミナーが開催されます。

数理新人セミナーは、数学の諸分野を専門とする大学院生および若手研究者が分野の垣根を越えて議論や交流を行うことにより視野を広げ研究を発展させることを目的として行われています。

その初日に「3変数量子 Garnier 系の高野理論について」というテーマで講演をさせていただきました。講演後は、様々な分野の方からの質疑応答がありました。またその後は、セッションの座長を務めたり、特別講演が行われたりしました。

詳細なプログラムは[こちら](#)。



2025年2月12日

## 叶俊文教授退任記念講義が開催されました

2月8日（土）に、3月末で定年退職を迎える叶俊文教授（体育心理学）の退任記念講義が開催されました。講義のテーマ・演題は、これまで本学で35年にわたり研究活動と学生教育のために実施してきた子どもキャンプを題材にした「夏休み子どもキャンプが教えていること」でした。学術的な視座だけでなく、キャンプに参加する生き生きとした子どもたちの表情、子どもたちを支える学生たちの真剣な眼差しが印象的で、素晴らしい活動をされてきたことを再認識させられる講義でした。多くの教え子たち（教え子の中には過去に子どもキャンプに参加した者も）や教職員、友人、関係者が駆けつけ、盛大な講義となりました。

これからも叶先生には未来の子どもたちに多くの経験や学びを提供し、活躍されることを大学関係者、参加者一同祈念しています。



次のページに続く



次のページに続く

2025年2月11日

### 倉志会春期特別講座

2月9日（日）、倉志会春期特別講座が実施されました。倉志会とは、中高教員輩出プロジェクトであり、中高教員を目指す学生をサポートし、教員採用試験の合格に向けて切磋琢磨できる機会を提供しています。午前の部は全体会として、「教師の魅力」「チーム学校として求めている先生」についての講話がありました。午後からは各教科に分かれての分科会でした。数学部会は、三重県立桑名高等学校の川瀬朋大先生をお招きし、3時間みっちりお話をお聞きしました。採用試験のことから、リアルな学校事情のこと、また数学の教材研究の仕方、最後には教員採用試験の模擬授業を想定した模擬授業対策まで従実したプログラムとなりました。参加した学生にとっても非常に濃密な時間となりました。



2025年2月11日

### 三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）

#### ②：上野先生

2月6日（木）に三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、第12回出前授業を行いました。今回で出前授業としては今年度最後の活動となるため、これまでの総まとめとして「算数・数学と私」というテーマでそれぞれがこれまでの学びを振り返り、プレゼンを行うという活動を実施しました。質疑応答も盛り上がり、あっという間の90分の授業となりました。



2025年2月11日

皇學館中学校との中大連携事業②：上野先生

2月5日（水）に2回目の中大連携事業が皇學館中学校にて行われました。前日の調査の結果を各グループでまとめ、成果発表会のスライド作りを行いました。

そして2月7日（金）には、セミナーホールにて成果発表会が行われました。AグループからEグループまでの5グループがそれぞれに探究したことを発表しました。グラフを作成して発表するグループ、図を作成して発表するグループ、仮説をもとに検証を行うグループなどそれぞれの発表に見どころがあり、面白い発表ばかりでした。参加した2年生の学生たちにとっても非常に学びのある活動となりました。



2025年2月8日

【つばさ】フォローアップ研修会を実施

2月6日、「こどもの遊び場芦田塾」の芦田健太先生、スタッフの久保先生をお招きし、「とにかく遊んで！丈夫でごきげんな子を育てる！」をテーマに研修会を開催しました。

当日は91名の学生が参加し、本気でだるまさんがころんだ、鬼ごっこ、綱引きなどの遊びを楽しみました。しっかり体を動かした後の学生たちは、まさにごきげんそのもの。遊びの中で培われる「基礎運動能力」や「非認知能力」の重要性を実感する貴重な機会となりました。

本研修を通じて、将来、子どもたちとたくさん遊びながら成長を支えられる先生になってほしいと願っています。



2025年2月6日

皇學館中学校との中大連携事業：上野先生

2月4日（火）、皇學館中学校との中大連携事業の一環で中学校3年生『数学研究』の時間を利用して、「車の交通量と信号機のアルゴリズムとの関係」についての調査を行いました。

数学教育ゼミの活動として、数理教育コース8名、初等教育コース4名、計12名の学生も参加しました。

1日目は、実際にいくつかの場所に分散し、近隣の各場所についての交通量と信号機のサイクル長（信号が青になってから黄、赤と変わり、再び青になるまでの時間（秒単位））について調査を行いました。

2日目は1日目に立てた仮説をもとに、実際に計測したデータを見ながら考察を行っていきます。





2025年2月3日

歌手・俳優の中右貴久氏を招いた演劇ワークショップ：教育学会

1月16日に、俳優、歌手、ダンサーとして活躍している中右貴久氏を招いて演劇の指導をしていただきました。

ワークショップの詳細はこちら。



次のページに続く

**2025年2月1日**

**小学校教員採用試験対策勉強会「つばさ」活動中**

昨年11月から教員採用試験の二次試験に向けて「つばさ」の活動が本格的に始動しました。参加している学生は積極的に模擬授業を行い、お互いに良い点や改善点を指摘し合っています。冬休みも熱心な学生たちが集まり、白熱した討論が繰り広げられました。

春休みは教員採用試験の対策をするための絶好のチャンスです。今後の成長に大いに期待しています。

【2月の活動の予定】

2月3日（月） 11：10～12：40 場所：622 教室

2月12日（水） 11：10～12：40 場所：622 教室

2月17日（月） 11：10～12：40 場所：622 教室

2月19日（水） 11：10～12：40 場所：622 教室



次のページに続く

2025年2月1日

## 鳥羽東中学校で「自然界のつり合い」をテーマに出前授業を実施しました

2025年1月22日、皇學館大学教育学部の生物学研究室と理科教育学研究室の学生が、鳥羽市立鳥羽東中学校にて中学3年生を対象とした出前授業を実施しました。

今回の授業では、理科の単元「自然界のつり合い」について学びました。授業では、皇學館大学で一年中飼育しているアワヨトウやカメムシを活用し、食物連鎖の仕組みを具体的に学びました。特に、大学で飼育しているクチブトカメムシによるアワヨトウ幼虫の捕食行動を実際に観察しながら、生態系のバランスについて理解を深めました。

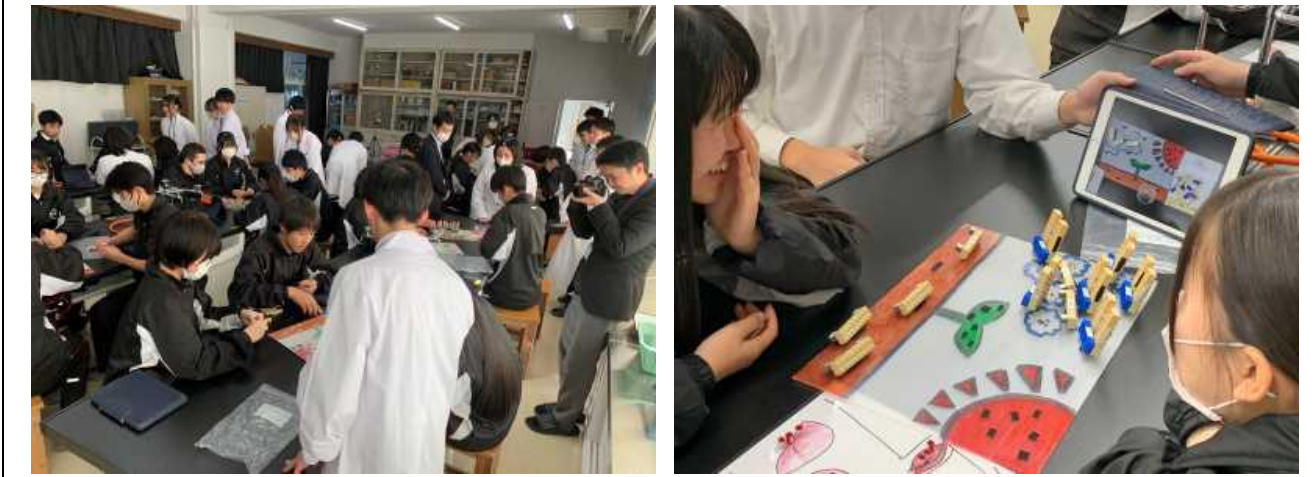
さらに、光合成や呼吸の仕組みを視覚的に捉えやすくするために、レゴブロックを教材として使用しました。生徒たちは手を動かしながら理論を学ぶことで、より直感的に概念をつかむことができました。

進行は現場の先生が担当し、大学生は授業のアシスタントとして中学生の学びをサポートしました。現場の先生と大学生が連携しながら授業を進めるコラボレーション形式で行われ、より実践的な学びの場となりました。

大学生にとっても、教育現場での経験を積む貴重な機会となり、実際の授業運営を支えることで指導技術を磨くことができました。今後も地域の学校と連携し、理科教育の発展に貢献してまいります。

生物学研究室 HP : <https://kogakkan-bio.sakura.ne.jp>

理科教育学研究室 HP : <https://kogakkan-science.sumomo.ne.jp/>



次のページに続く

2025年2月1日

## 三重県立上野高等学校にて現場の教員との連携授業を実施しました

2024年12月13日、皇學館大学教育学部の生物学研究室と理科教育学研究室の学生らは、三重県立上野高等学校理数科1年生40名を対象に生物基礎の実験授業を実施しました。この取り組みは、高校生に科学的探究の楽しさを伝えるとともに、大学生自身の指導力向上を目的としています。

### 授業の概要

今回の授業では、高等学校の生物担当教員と連携し、「アワヨトウ幼虫の血球を用いた食作用の観察」をテーマに実験を行いました。事前に大学生が実験の準備を行い、授業当日は高校生の実験のアシスタントをしました。

### 新たな取り組み

今年度は、蛍光インクとUVライトを使用した新しい方法に挑戦しました。血球による食作用が視覚的にわかりやすくなるこの手法は、高校生から好評でした。さらに、大学生が顕微鏡の使い方を一人ひとりに丁寧に指導し、高校生が実験をスムーズに進められるようサポートしました。現場の教員との連携や実践経験を通じて、教育者としての視野を広げる貴重な機会となりました。

生物学研究室 HP : <https://kogakkan-bio.sakura.ne.jp>

理科教育学研究室 HP : <https://kogakkan-science.sumomo.ne.jp/>



2025年2月1日

## 津田学園小学校で昆虫と自然を学ぶ生活科の出前授業を実施しました

2024年12月6日、桑名市の津田学園小学校にて、皇學館大学教育学部の生物学研究室と理科教育学研究室の学生が小学1年生を対象に出前授業を行いました。授業では「昆虫は食べ物があるところに住んでいる」ことや、「野外観察時の注意点」について学びました。大学生が作成したマップや昆虫カードを活用し、グループワークを通して楽しく学習しました。また、授業の進行は学生が担当し、事前に何度も練習を重ねました。子どもたちは植物や昆虫の標本、危険な生き物の標本に興味津々で観察し、「もっと自然を観察したい!」との声が上がりました。本学では、今後も地域の学校と連携し、実践的な学びの機会を提供していきます。

生物学研究室 HP : <https://kogakkan-bio.sakura.ne.jp>

理科教育学研究室 HP : <https://kogakkan-science.sumomo.ne.jp/>



2025年2月1日

三重県立松阪高等学校 SSH 研究開発に係る第2回運営指導委員会に参加しました：上野先生

2025年1月22日（水）に、三重県立松阪高等学校 SSH 研究開発に係る第2回運営指導委員会に参加しました第IV期申請に向けて参加者の方、また関係者の先生方と議論、意見交換を行いました。また、台湾研修の内容や次年度の活動について、各関係者の意見を聞きながら議論しました。



次のページに続く

2025年1月28日

## たにぞうさんによる講演会：教育学会

2024年12月12日（木）に、たにぞう（谷口國博）さんをお招きして、教育学部教育学会による講演会を開催しました。講演は、体調不良のために参加いただけなかった佐藤弘道さんからのビデオレターから始まりました。その後は、にぎやかな音楽に合わせて、体操や親子あそびなどの実践的な内容を体を動かしながら学びました。普段会う機会のない人ともコースやゼミなど関係なく、全員で一緒にあそびうたを楽しみました。榎沢りかさんによるパワフルなダンスや、佐藤久美子さんによる体あそびの指導もあり、盛りだくさんの内容でした。最後は全員が笑顔で記念撮影に参加しました。

詳細は[こちら](#)



次のページに続く



2025年1月22日

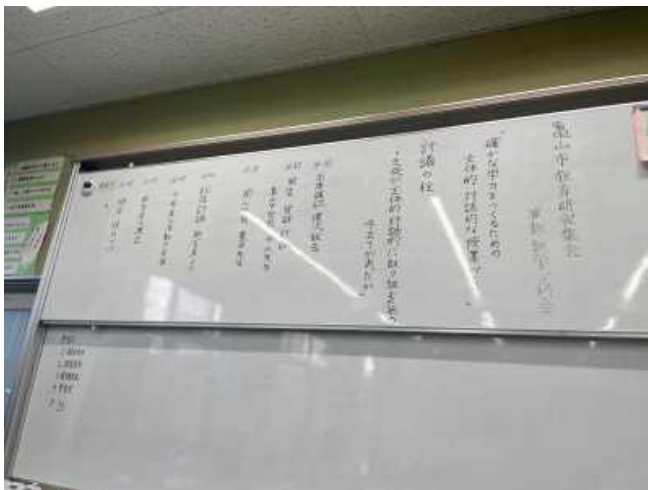
**三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）：上野先生**

2025年1月16日（木）に、三重県立昴学園高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に関わる取り組みとして、第10回出前授業を行いました。今回も前回に引き続き、身近なデータを用いたデータの活用方法についての講義と、データを表やグラフに表し、それに基づき自分自身の考えをプレゼンテーションする取り組みを実施しました。当日は三重県教育委員会高校教育課の先生も見え、ディスカッションも盛り上がりました。

2025年1月22日

**亀山市教育研究部推進協議会研修会：上野先生**

2025年1月15日（水）に亀山市教育研究部推進協議会主催の第4回の一斉研修会にて講師として参加させていただきました。当日は、亀山市立関小学校の豊田先生、亀山市立亀山中学校の中山先生のレポート検討を行った後、講評と講演という形で約30分間お話をさせていただきました。確かな学力をつくるための主体的・対話的な授業づくりについて先生方と議論を行う中で、また大切なものに気付かせていただきました。



2025年1月16日

叶俊文教授 退任記念講義

本年度で退任されます叶俊文先生の退任記念講義が、下記の通り開講されます。


演題「夏休み子どもキャンプが教えていること」

日時：令和7年2月8日（土）2 講目（11:10～）

場所：621 教室

その他：事前申込不要

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

チラシはこちら  [チラシ](#)

2025年1月9日

教職実践演習（初等）外部講師講演

令和7年1月9日（木）、「教職実践演習（初等）」にて、伊勢市教育委員会指導主事の松岡孝先生をお招きし、講演をいただきました。

教員として求められる資質や能力について、学校現場の実情や先生ご自身の体験を交えて話をいただきました。あわせて、4 月から教壇に立つ学生たちに激励と期待の言葉もかけていただきました。

